CentreCOM[•] LA-PCM-TV3

ユーザーマニュアル

©1999 アライドテレシス株式会社

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られて いない場合、感雷、怪我、火災、故障などの原因になります。



分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしないでくだ さい。感電や故障の原因となります。また、メディ アケーブルも分解しないでください。

.

稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置 などの作業を行わないでください。落雷により、感 雷する恐れがあります。



静雷気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用し ています。部品が静電破壊する恐れがありますの で、コネクターの接点部分などに素手で触れないで ください。



取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータの PC カードスロットに本製品を取り 付ける作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュ アルを参照の上正しく行ってください。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたり しないでください。



次のような場所での使用や保管はしな いでください

 ・直射日光の当たる場所
 ・暖房器具の近くなどの高温になる場所 ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所) ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所 ・振動の激しい場所

- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・スピーカ付近などの強磁界

動作温度と湿度

本製品は温度0~55、湿度最大95% ただし、結 露なきこと)の範囲内でご使用ください。

異物を入れないでください 本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れない

でください。本体内部に異物が入ると火災、感雷な どの恐れがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議 会 VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置で す。この装置は、家庭環境で使用することを目的と していますが、この装置がラジオやテレビジョン受 信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こ すことがあります。取扱説明書に従って正しい取り 扱いをしてください。

長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、コン ピュータのPCカードスロットに入れたままにしな いで必ず袋に入れてください。



警告

日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてくだ さい。ベンジン、シンナーなどは使用しないでくだ さい。製品の変形、変色の原因になります。



お子様の手の届かないところに保管し てください

高温注意



本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中 に高熱を発するようになります。ご使用直後はかな り高温になっておりますので、ご注意ください。火 傷の恐れがあります。



運搬時の注意

本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着 したままでコンピュータを運搬するときには必ず付 属のケーブルを外してください。

濡れたカードは使用しない



カードが万が一濡れた場合はショートによる感雷・ 火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。

0 **はじめ**に

この度は「CentreCOM LA-PCM-T V3」LAN PC カードをお買 い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、 本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにい つでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいます ようお願いいたします。

0.1 内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が 同梱されている場合があります)。お買い上げ商品についてご確認い ただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですがお買い求 めの販売代理店までご連絡ください。

- CentreCOM LA-PCM-T V3 本体(永久保証対象)
- ・メディアケーブル
- ドライバーディスク(2枚)
- ・ ユーザーマニュアル
- 製品保証書(永久保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- ・ シリアル番号シール

0.2 このマニュアルの構成

このマニュアルは、次図のような構成になっています。ドライバー のインストール手順などは、Windows98/95/NT4.0/NT3.51 に 分けて記述していますが、その他の項目は、共通の記述になって いるところもあります。ご使用のオペレーティングシステム(OS) に応じて、図のように読み進んでください。

0.3 **ドライブ名「**A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種と して「AT 互換機または PC98-NX」、ドライブ名として下記を仮定 して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場 合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- ・「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- ・「 起動ドライブ (ハードディスク)」として「C:」
- •「CD-ROM ドライブ」として「D:」

「PC-9800/PC-9821」における一般的なドライブ名を次に挙げま す(必ずしも下記の通りではありません。コンピュータのマニュア ル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください)。

- ・「フロッピーディスクドライブ」として「B:」
- ・「起動ドライブ (ハードディスク)」として「A:」
- ・「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

0.4 表記上の注意

Windows95 にはいくつかのバージョンが存在します。本マニュア ルでは、各用語を次の意味で使用しています。

- Version 950 Windows95 Ver.4.00.950
- Version A Windows95 Ver.4.00.950a



- Version B Windows95 Ver.4.00.950 B このパージョンは「Version B」「OSR2 (= OEM Service Release 2)」「Type B」などの呼称が存在しますが、本書で は "Version B" に統一します。
- Version C Windows95 Ver.4.00.950 C このパージョンは「Version C」「OSR2.5 (= OEM Service Release 2.5)」「Type C」などの呼称が存在しますが、本書 では "Version C" に統一します。

特に、バージョンを区別しない説明の場合には Windows95 と表記します。

目次

0		4
0		. 4
	0.1 内容物をこ確認くたさい	4
	0.2 このマニュアルの構成	. 4
	0.3 ドライブ名「A:」「C:」「D:」	. 4
	0.4 表記上の注意	. 4
	407 775	~
'		. 0
	1.1 符長	. 8
	1.2 対応コンピュータ機種	. 8
	1.3 対応オペレーティングシステム	. 8
	1.4 各部の名称と働き	. 8
	1.5 ドライバーディスク	. 9
2	비 _ ドゥ - 고 ^ 원후	0
2		.9
	2.1 メティアケーブル取り扱い上の注意	. 9
	2.2 メディアケーブルの取り付け・取り外し	9
	2.3 PC カードの取り付け・取り外し	10
	2.3.1 PC カードの取り付け・取り外し	
	(WindowsNT4.0/3.51)	10
	2.3.1.1 PC カードの取り付け 2.3.1.2 PC カードの取り外し	10 10
	2.3.2 PC カードの取り付け・取り外し	
	(Windows98/95)	10
	2.3.2.1 PC カードの取り付け	10
	2.3.2.2 PCカードの取り外し	10
	2.4 ネットワークへの接続	
3	Windows981	12
	3.1 ドライバーのインストール	12
	3.1.1 用意するもの	12
	3.1.2 新規インストール	12
	3.2 インストールの確認とアダプターの設定	14
	3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認 1	4
	3.2.2 PC カード(PCMCIA)による確認	15
	3.2.3 ネットワークの設定	15
	3.3 ドライバーの更新	16
	3.4 ドライバーの削除	18
	3.5 ドライバーの再インストール	18
	3.6 ドライバーのトラブル	19
	3.6.1 本製品を認識しない	19
	3.6.2 デバイスマネージャで「×」が付く	19
	3.6.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない …	19
	3.6.4 リソース値重複の回避	20
4	Windows95	2.0
,		20
	4.1.1 用音するもの	≥0 20
	112 新担インフトール	-0 21

	4.2 インストールの確認とアダプターの設定	23
	4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認	23
	4.2.2 PC カード(PCMCIA)による確認	.24
	4.2.3 ネットワークの設定	24
	4.3 ドライバーの削除	.24
	4.4 再インストール	25
	4.5 ドライバーのトラブル	25
	4.5.1 本製品を認識しない	25
	4.5.2 デバイスマネージャで「×」が付く	26
	4.5.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない…	26
	4.5.4 リソース値重複の回避	26
5	Windows NT Ver 4.0	27
5		. 2 1
	5.1 準備と唯認	27
	5.2 ドライバーのインストール	27
	5.2.1 用意するもの	.28
	5.2.2 リソースの確認	.28
	5.2.2.1 概要	28
	5.2.2.2 リソースの1/2	28 28
	5.3 ドライバーの新規インストール	29
	5.4 インストール後	32
	5.4.1 リソースの確認	32
	5.4.2 本製品を使用しないとき	32
	55 ドライバーの削除と雨インストール	33
	5.5.1 ドライバーの削除	. 33
	5.5.2 車インストール	33
		22
6	Windows NT Ver. 3.51	.34
	6.1 準備と確認	34
	6.2 ドライバーのインストール	34
	6.2.1 用意するもの	. 34
	6.2.2 リソースの確認	34
	6.2.2.1 概要	34
	6.2.2.2 リソースの値	34
	6.2.2.3 WindowsNI診断フロクラムの使用方法	35
	6.3 ドライハーの新規インストール	35
	6.4 インストール後	40
	6.4.1 リソースの確認	40
	6.4.2 本製品を使用しないとき	40
	6.5 ドライバーの削除と再インストール	.40
	6.5.1 ドライバーの削除	.40
	6.5.2 再インストール	41
	6.6 ドライバーのトラブル	41
7	ネットロークのトラブル	11
'		- T I
	/.1 LNK LEU は点灯していますか?	. 41
	7.2 LNK LED は点灯しているが	41

А	付録	42
	A.1 製品仕様	. 42
	A.2 ネットワークインターフェース	. 42
	A.3 MAC アドレス	.42
в	保証	43
С	ユーザーサポート	43
	C.1 調査依頼書のご記入にあたって	. 43
	C.2 システムレポート添付のお願い	. 44
	C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法	.45
D	ご注意	48
Е	商標について	48
F	マニュアルバージョン	48

概要

1.1 特長

CentreCOM LA-PCM-T V3 (以下 本製品と表記) は以下の特長 をもつ LAN PC カードです。

- ・PC Card Standard (PCMCIA Rel.2.1 / JEIDA Ver.4.2) Type II に対応
- Type II PC カードスロットをもつ AT 互換機 /NEC PC98-NX、PC-9800/PC-9821 に対応
- ・10M Ethernet (10BASE-T) に対応
- ・ 接続アダプターが付属(RJ-45 型 10BASE-T コネクター (メス)を提供)
- ・動作状態を表示する2個のLEDがカード本体に付属
- ・ Plug&Play に対応 (注)
- ・ 活線挿抜 (Hot Plug/Hot Swap) に対応^(注)

Plug&Play、活線挿抜は、これらの機能に対応して いるコンピュータ、オペレーティングシステム (OS)とドライバーのもとでご使用になれます。

1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PC Card Standard (PCMCIA Rel.2.1 / JEIDA Ver.4.2 Type II)に対応する PC カードスロットを持つ次のコン ビュータ機種に対応しています。

- ・ AT 互換機および NEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821

1.3 対応オペレーティングシステム

本製品は 次のオペレーティングシステム(OS)に対応しています。

- Windows98
- Windows95
- · WindowsNT Ver.4.0
- WindowsNT Ver.3.51
- WindowsCE2.0J/Pro3.0
- MS-DOS (PC-DOS) Ver5.0以上

WindowsCE、MS-DOS でのインストール方法などは 本製品のド ライバーディスクに収められている、テキストファイル形式のマニュア ルに記述されています。そちらをご覧ください。(詳細は ドライ パーディスクに納められている README.1STファイルを参照)



省電力モード(パワーマネージメント機能、サス ペンドレジューム機能)には対応しておりませ ん。すべての設定を無効にしてご使用ください。

1.4 各部の名称と働き

- 図 1.4.0.1 ~ 図 1.4.0.2 をもとに各部の名称と働きを説明します。
 - PC カード本体 コンピュータの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプ ターの機能を提供します。
 - ACT LED パケットの送受信が発生したとき橙色に点灯します。パケッ トの送受信が発生していないときは消灯しています。
 - LNK LED 対向装置と正常にリンクが確立されたとき緑色に点灯しま す。リンクしていないときは消灯しています。
 - 脱着ツメ メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。メディア ケーブルの脱着は必ずこのツメを持って行ってください。
 - メディアケーブル PC カード本体と UTP ケーブルを接続するためのケーブル です。
 - RJ-45 モジュラージャック UTP ケーブル (シールドなしツイストペアケーブル)を接 続するコネクターです。
 - MAC アドレスラベル 本製品の MAC アドレスが記入されています。MAC アドレ スついては、「付録 A.3 MAC アドレス」をご覧ください。
 - 警告ラベル 本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

シリアル番号シール

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入され ています。同じものが、3枚ほど同梱されており、パッケー ジ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル 番号シールは、「製品保証書」に貼付してください(残る 1 枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサ ポートへ問い合わせる時に必要な情報です。



図 1.4.0.1 LA-PCM-T V3 外観図 (上面)



図 1.4.0.2 LA-PCM-T V3 外観図(裏面)

1.5 ドライバーディスク

本製品には、下記の2種類のドライバーディスクが付属しています。 ご使用のコンピュータ機種にあわせて、ご使用ください。

- AT 互換機 /NEC PC98-NX 用(1.44M)
- NEC PC-9800/PC9821 用 (1.25M)

本製品をご使用になる前に、必ず、ドライバーディスクに含まれる 「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には こ のマニュアルに記載されていない最新の情報が記載されています。



¥README.1ST (Read me first.) ファイルには、ドライ バーディスクの 詳細なディレクトリ構造や ドライバー ディスク全体に関わることが記載されています。各 ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連 する README ファイルが存在します。

2 ハードウェアの設定

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作 業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあま す。

2.1 メディアケーブル取り扱い上の注 音

メディアケーブルを I A-PCM-T V3 本体に取り付けまたは取り外す 際には、以下の点に注意してください。

コネクターをPC カードに無理に押し込まない コネクターの上下の面を確認してください。差し込むときに 抵抗を感じたら、無理に押し込まないでください。

コネクターやケーブルを持って引き抜かない 必ず、コネクターの両側にある脱着ツメを押さえながら PC カードから取り外してください。



図 2.1.0.1 メディアケーブルの取り扱いに注意

コネクターに無理な力を加えない

・コネクターの上に物を落とす、手をつく

・PC カードとコネクターの接続部に手や物を引っかける など、コネクターに無理な力を加えると故障や破損の原因と なります。



この取扱上の注意に従わず、誤った使い方をした場合に発 生した故障については、製品保証の対象外とさせていただ

2.2 メディアケーブルの取り付け・取 り外し

メディアケーブルの LA-PCM-T V3本体への取り付けは 下図のよ うに コネクターの マークを上にし メディアケーブルのコネクター を本体のコネクターに奥まで差し込んでください。差し込んだら、メ ディアケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してくださ 61.



図 2.2.0.1 LA-PCM-T V3本体へのメディアケーブルの取 り付け

メディアケーブルを LA-PCM-T V3 本体から取り外す場合、本体 (PC カード)をコンピュータから取り外し、メディアケーブルのコネ クター部の左右にある、脱着ツメを押さえながら本体から引き抜いて ください。

LA-PCM-T V3 本体をコンピュータに取り付けた状態で、 メディアケーブルの取り外しを行わないでください。メ ディアケーブルとPC カード本体は 強い力で嵌合してい るため、メディアケーブルを引っ張ると、PCカードがコン ピュータの PC カードスロットから抜けてしまいます。

2.3 PC カードの取り付け・取り外し

ここでは 本製品の PC カードスロットへの取り付けおよび 取り外 しの手順を説明します。

対応するオペレーティングシステムにより、手順が異なりますので、ご 使用のオペレーティングシステムにあわせて、次の項目を参照してく ださい

- ・WindowsNT4.0/3.51の場合 「2.3.1 PC カードの取 り付け・取り外し(WindowsNT4.0/3.51)」へ
- ・ Windows98/95の場合 「2.3.2 PCカードの取り付け・ 取り外し(Windows98/95)」へ
- 2.3.1 PC カードの取り付け・取り外し (WindowsNT4.0/3.51)

<u>WindowsNT4.0/3.51 の場合、本製品の PC カードスロットへの取</u> り付け、取り外しは 必ずコンピュータの電源をオフにしてから実行 してください。

2.3.1.1PC カードの取り付け

「LA-PCM-T V3」の文字が印刷された面を上にして、本製 品をコンピュータのPC カードスロットに挿入し、カチッと 手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着す るものもあります。間違って装着した場合、本製 品やご使用のコンピュータの故障の原因となり ます。PC カード装着に関しては、必ずご使用の コンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.3.1.2 PC カードの取り外し

コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してくださ い。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せ る状態になります。



2.3.2 PC カードの取り付け・取り外し (Windows98/95)

Windows98/95 は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータ の電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットに挿入するこ とができます。

本製品 (PC カード)のコンピュータへの取り付けは 後述のインス トール手順をお読みになってから行ってください (本製品をコン ビュータの PC カードスロットに挿入すると ただちにインストールが 開始されてしまいます)。

(1) 「LA-PCM-T V3 」の文字が印刷された面を上にして、本製 品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッと 手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着す るものもあります。間違って装着した場合、本製 品やご使用のコンピュータの故障の原因となり ます。PC カード装着に関しては、必ずご使用の コンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows98/95 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。
- (3)「PC カード(PCMCIA)のプロパティ」を表示させると(「コ) ントロールパネル」 「PC カード (PCMCIA)」)、「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」の名前が表示されま す (Windows98 の場合は、「図 3.2.2.1 PC カードのプロパ ティ (「ソケットの状態」)」(p.15)、Windows95の場合は、 「図 4.2.2.1 ソケットの状態」(p.24)を参照)。

2.3.2.2 PC カードの取り外し

Windows98/95 は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータ の電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットから取り外す ことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品 を取り外す場合は 必ず以下の手順で行ってください。



以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップ や、Windows98/95 ファイルの破壊を招く恐れがあます。ま

た、以下の手順をお守いただかないで起こった障害に関し てはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータ ベースアプリケーションなどをすべて終了してください。 「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、 すべて切断してください。
- (2) タスクパーの PC カードアイコン(通常デスクトップ右下) をクリックします。



図 2.3.2.2 PC カードアイコン

 (3)「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card の中止」パーが 表示されたらパーをクリックしてください。

Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card の中止

図 2.3.2.3 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Cardの中止」バー

(4) 次のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 2.3.2.4 PC カード取り外しの確認

(5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



メディアケーブルを引っ張って PC カードを引き 抜くことは絶対におやめください。本製品、メ ディアケーブルの故障の原因となります。

2.4 ネットワークへの接続

ネットワークに接続するときのケーブルの取り扱いについて説明します。

 UTP ケーブルの端に付いたプラグの一方を、本製品のUTP コネクターにカチッと音がするまで差し込んでください。



UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブ ル)は、10BASE-T の場合はカテゴリー3以上の ものでストレートタイプをご使用ください。

- UTP ケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してく ださい。
- (3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッチ)の UTP コネクターに差し込んでください。手順は、上記(1)(2)と同様です。





図 2.4.0.1 ハブとの接続例

3 Windows98



以下に挙げる内容は一例です。お客様の環境によっては、 手順などが若干異なることがあります。(本書に掲載した画 面は AT 互換機のものです。PC-9800/PC-9821 の場合は ディンクトライブ名が異なります。)

3.1 ドライバーのインストール

3.1.1 用意するもの

- ・LA-PCM-T V3 カード本体
- ・コンピュータ (Windows98 インストール済み)
- ・ LA-PCM-T V3 ドライバーディスク(本製品に付属)
- ・Windows98のCD-ROM



Windows98が、コンピュータ購入時にあらかじめインストール された形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版で ある場合は、Windows98のパッグアップ CD-ROM が付属し ているかどうかをご確認ください。パックアップ CD-ROM が 付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクに Windows98のパックアップを取った後でドライバーのインスト ルを開始してください。パッグアップの手順については、ご使 用のコンピュータのマニュアルをご覧になるか、コンピュータ メーカーにご確認ください。

3.1.2 新規インストール

本製品のドライバーをWindows98に新規インストールする手順を説 明します(ここでは 今までにネットワークアダプター用ドライバーを インストールしたことがなく 今回初めて本製品のドライバーをイン ストールする場合の手順について説明します)。

- コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してく ださい。
- コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows98 は本製品がPC カードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、次のダイアログを表示します。「次へ>」ボタンをクリックしてください。

KL(X)/-ドウェアク3540/94/-ド Image: State of the state

図 3.1.2.1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の起動

(4)「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、イン ストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、 「次へ>」ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザ	·-F					
	検索方法を選択してください。					
	○ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)					
	●特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する					
*	(夏3個) (水へ) キャンセル					

図 3.1.2.2 検索方法の選択

(5) 次のダイアログが表示されます。一覧から、「ネットワーク アダプタ」を選択し、「次へ >」ボタンをクリックしてくだ さい。

新しいハードウェアの追加ウィサ	f-F
	下の一覧からデバイスの種類を選び、じなへ」をクリックしてください。
	システムデバイス その他のデドイス ディスシレイ アタカタ ディスシレイ アタカタ メンド ディスシーム
**	121-97 インダーフェイス チバイス プロック プロッピー ディスクコントローラ オート (COM / LPT)
	< 戻る(B) (たん) キャンセル

図 3.1.2.3 デバイスからネットワークアダプタを選択



コンピュータの機種によっては、手順(5)のネッ トワークアダプタを選択する画面が表示されず、 手順(6)のデバイスの選択画面が表示されるもの があります。その場合は、手順(6)に進んでくだ さい。

(6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンを クリックしてください。

デバイスの選択
ハードウェアメー数するネットワーク アダラタをクリックして、[00] を クリックしてくださし、モデルがかからないときは、[00] をクリックし てくださし、ロップバイスのインストール ディスクをお持ちの場合は、[ディスク使用] をクリックしてくださし。
製造元(世): モデル(D):
■2 (242142374-2*) FB(7 ■2 (35346) C01 ボート・ ■2 (35346) C01 ボート・ ■2 (3546) C01 ドライバ ■2 (3540-10) ■2 (3540-1
ディスク使用(田)
0K キャンセル

図 3.1.2.4 ドライバーインストールにはディスクを使用

(7) 本製品付属のドライバーディスクをフロッピーディスクド ライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」と入 力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、 フロッピーディスクを「A:」と仮定します。

ディスクからインストール	×
デルバスの製造元が配布するインストー ルティスクを指定したドライブに入れ て、[04]をラリックしてください。	08 キャンセル 参照(<u>B</u>)
A:#WINDOWS.98	

図 3.1.2.5 ドライバの選択

(8) Windows98 によってドライパーディスクが走査され、次の ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると ダイアログが閉じ、図 3.1.2.4 の画面に戻りますが、画面が 自動的に閉じて、手順(9)の図 3.1.2.7 の画面が表示される まで、そのまましばらくお待ちください。(1~2分)

テバイスの変択 ネットワーク アダブタ: お使いのハー 要素 まったれています。 セットアップするう まったれています。 セットアップするう まってきない。モデルが一覧に マックを注釈してくたさい。 レック一覧に マックを注釈してくたさい。 レック一覧に	× *ウェアと互換性のあるモデルが デルをクリックして、[0K] をク 以場合は、[すべてのデバイスを はセットアップ ディスクにある
モデル(L):	
PBAllied Telesis LA-PDM V3 Ethernet Card	
 ● 互換性のあるデバイスを表示(<u>(</u>) ○ すべてのデバイスを表示(<u>A</u>) 	ディスク使用(世)
	キャンセル

図 3.1.2.6 モデルの確認

(9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が 「A:¥WINDOWS.98¥NETATK.INF」となっていることを確 認し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

5(4A)-8927030097	 ケード 次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します。: Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card このデバイス用で選択したドライバを行いてきょした。 たり回のドライバを提択する場合は、戻る1をクリックしてくたさい。した イン目のドライズを送択します。 ドライバのある場所: ネ4WINDOWS S98/NETATICINF 							
(夏3@) (次八) キャンセル								
図 3.1.2.7 ドライ	イバーファイルの検索開始							

_			-		-	-		-	 	

(10) インストールの途中で、次のようなダイアログが表示される 場合は、フロッピーディスクドライブに本製品のドライバー ディスクが入っていることを確認し、「ディスクの挿入」ダ イアログで「OK」ボタンをクリックしてください。

ディスクの	掉入 🛛 🕅
8	Windows 98 CD-ROM ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。

図 3.1.2.8 ドライバーディスクの要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」 にバスの指定を、「A:¥windows.98」と入力し「OK」ボタ ンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスク ドライブを「A:」と仮定します。



<u>ファイル「lapcmv34.sys」は、Windows98の</u> CD-ROM 上のファイルとして説明されています が、実際は、本製品に添付されている、 CentreCOM LA-PCM-T V3 用のドライバー ディスクの中に収められています。

ファイルのコピー	×
Vindows 38 CD-ROH 上のファイル lapcmv34.sys が見つかりませんでし た。 Vindows 38 CD-ROH を選択したドライブ に入れて、[DK] をクリックしてくださ	 キャンセル
6.10	スキッブ(<u>§</u>)
ファイルのコピー元(©):	#¥細(₽)
A:#WINDOWS.98	

図 3.1.2.9 ドライバーのパス(所在)の指定

また、次のようなダイアログが表示される場合、 Windows98 の CD-ROM が CD-ROM ドライプに挿入され ていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで 「OK」ボタンをクリックしてください。

ディスクの	挿入
8	'Windows 98 CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をグリックしてください。
	[OK]

図 3.1.2.10 Windows98 CD-ROM の要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー 元」に「D:¥WIN98」を入力してください。ここではCD-ROM ドライブを「D:」AT 互換機を仮定します。PC-9800/PC-9821の場合は、「Q:¥WIN98N」を指定してく ださい。



図 3.1.2.11 Windows98 関連ファイルの所在の指定

ご使用のコンピュータがプリインストール版で ある場合、「ファイルのコピー元」として 「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してく ださい(AT 互換機/PC98-NX)。PC-9800/PC-9821では、「A:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」 を入力してください。

(11)「完了」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.12 インストールの完了

(12) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜 き、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動し てください。

システム部	定の変更
?	新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?
	CK/200

図3.1.2.13 再起動の確認

(13) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。



インストール後の再起動時に、次のようなダイア ログが表示されることがあります。DHCP サーバ を使用していなければ、「いいえ」ボタンをクリッ クしてください。また、DHCP サーバーを使用し ている場合(例えば、ケーブルテレビを使用した インターネット接続等)は、「はい」ボタンをク リックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使 用になる場合は、DHCP の設定に関してシステム 管理者にご相談ください。



図 3.1.2.14 DHCP メッセージ

3.2 インストールの確認とアダプター の設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認 し、さらに必要な設定を行います。

3.2.1 デバイスマネージャによるインストール の確認

(1)「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルク リックしてください。



図 3.2.1.1 「コントロールパネル」ー「システム」アイコ ン

(2)「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。イン ストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダブタ」 の下に「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示 されます。



図 3.2.1.2 システムのプロパティ



本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いて いたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下 ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下 にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、 「3.6 ドライパーのトラプル」(p.19)をご覧ください。

(3)「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択(反転 表示)し、「プロパティ」「全般」タブと進みます。「デパ イスの状態」欄に「このデパイスは正常に動作しています。」 と表示されていることをご確認ください。



図 3.2.1.3 本製品のプロパティ (「全般」タブ)

(4) 本製品が使用する I/O の範囲 (I/O アドレス)割り込み要求(IRQ)などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Cardのプロパティ 2 X 全般 ドライバ リソース
Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card
□ 自動設定を使う(U)
基(こする設定(目): 基本設定 0000 ▼
リソースの種類 設定 <u>100 の範囲</u> 10240 - 025F 割込み要求 11
設定の変更 (2)
競合するデバイス:
願合はかりません。
0K ++v/Ul

図 3.2.1.4 本製品のプロパティ (「リソース」タブ)

3.2.2 PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PC カード(PCMCIA)」をダブルクリッ クします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示されているこ とを確認します。

カード (PCMCIA)のフロバティ ア	×
PC カードを取りはずすには、一覧から選択して [停止] をクリックしてください①	
● 空) - ゾケット 1 ■● Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card - ソケット 2	
停止受	
 ✓ タスク バー上(ニコントロールを表示する(仕) ✓ 停止剤(こカードが取りはずされたら、警告を表示する(血) 	
OK キャンセル 適用(A)]

図 3.2.2.1 PC カードのプロパティ (「ソケットの状態」)

3.2.3 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使 用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な設定 を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリック してください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容 は、再起動後から有効となります。設定に関する詳細は、システム 管理者にご確認ください。

λ ₂ トワ−ク ? ×
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御
現在のネットワーク コンボーネント(凹):
🔜 Microsoft ネットワーク クライアント
📇 Microsoft ファミリ ログオン
🖪 NetWare ネットワーク クライアント
Realized Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card
■9赤外線 PnP シリアル ボート (*PNP0510)
注意加(A)
優先的にログオンするネットワーク(L):
Microsoft ネットワーク クライアント
- 説明
OK 1 **>セル

図3.2.3.1「ネットワーク」ダイアログ

3.3 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときに 実行します。

- Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライ プに入れてください。
- (2)「コントロールパネル」 「システム」 「デパイスマネー ジャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリッ クし、その下に表示される「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリッ クしてください(図3.2.1.2参照)。
- (3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライ パの更新」ボタンをクリックしてください。

Allied Telesis LA-POM V3 Ethernet Gard070/17구 7 [X] 全般 F54/K 099-2 Allied Telesis LA-POM V3 Ethernet Card
製造元: Microsoft 日付: 2-27-1999
このデバイス用に読み込まれているドライバライルの詳細を表示するに は、ドライバライルの詳細を対っつしてなたい。このデバイス用がドラ イバライルを更新するには、ドライバの更新1を少かりしてなたい。
ドライバ ファイルの詳細(型) のK キャンセル

図 3.3.0.1 本製品のプロパティ (「ドライバ」タブ)

(4) 「次へ>」ボタンをクリックしてください。

デバイス F547Aの互称ウィダード メングライソスの互称されたドライバを検索します: Allied Telesis LA-PGM V3 Ethernet Card デバイス、ドライパは、ハードウェア ライバスが物作するために必要な少 デバイス、ドライパは、ハードウェア ライバスが物作するために必要な少 デバイス、ドライパを引く発展しい(ニーシュビア・プリムード科会、ハードウェ プリイス、ドライパス、レードウェア・ディングルード科会、ハードウェ マライド、保証しが自然を打ます。 (二人) (二人) (二人) (二人) (二人) (二人) (二人)

- 図 3.3.0.2 「デバイスドライバの更新ウィザード」の起動
- (5)「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、イン ストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、 「次へ>」ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバの更新ウィザ	3-12
	検索方法を選択してください。 ○ 現在使用しているドライバとけさらに適したドライバを検索す る (種類) ◎ 特定の時期にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インス トールするドライバを選択する
	(夏&@) ***ンセル

図 3.3.0.3 検索方法の選択

(6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンを クリックします。

デバイスの選択	×
ネットワーク アダブタ: お使いのハード まったれています。セットアップするモ リックしてください。モデルが一覧にな 表示してないたください。モデルが一覧にな 表示してないでした。 特方の場合は、「ディスク使用」をクリッ	:ウェアと互換性のあるモデルが :デルをクリックして、[0k] をク にい場合は、[すべてのデバイスを スのインストール ディスクをお ・クしてください。
モデル(L):	
₩ Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card	
● 互換性のあるデバイスを表示(C)	
 すべてのデバイスを表示(<u>A</u>) 	ディスク使用(10.1)
	OV the School
	<u>い</u> <u>キャノセル</u>

図 3.3.0.4 ドライバーの更新には、ディスクを使用

(7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスク ドライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」と 入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここで は、フロッピーディスクを「A:」と仮定します。

ディスクからインストール	×
デドイスの製造力が配布するインストー ルディスクを推定したドラインストー レディスクを推定したドラインに入れ て、[00] をクリックしてください。 配布ファイルのコピー元:	0K キャンセル 参照(B)
A: ¥VINDOVS. 88	

図 3.3.0.5 ドライバーの所在の指定

(8) Windows98 によってドライバーディスクが検索され、次の ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてく ださい。ダイアログが閉じ、図 3.3.0.4 の画面に戻りますが、 画面が自動的に閉じて、手順(9)の図 3.3.0.7 の画面が表示 されるまで、そのまましばらくお待ちください。(1~2分)

デバイスの選択	×
ネットワーク アダブタ: お使いのハー 素示されていまず。 セットアップする: リックしてください。 モデルが一覧にか 美示ブ を選択してください。この一覧に ファイルだけが表示されています。	ドウェアと互換性のあるモデルが モデルをクリックして、[0K] をク はい場合は、[すべてのデバイスを はセットアップ ディスクにある
モデル(L):	
電Allied Telesis LA-PDM V3 Ethernet Card	
 ・ ・ ・	ディスク使用(世)
	キャンセル

図3.3.0.6 選択するドライバーの確認

(9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATK.INF」となっていることを確認し、「次ヘ>」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。



図3.3.0.7 ドライバーファイルの検索開始

(10)途中で、次のようなダイアログが表示される場合は、フロッ ビーディスクドライブに本製品のドライバーディスクが 入っていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで 「OK」ボタンをクリックしてください。

ディスクの非	¥入 🛛 🕅
8	'Windows 98 CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。
	ОК

図3.3.0.8 ドライバーディスクの要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」 にバスの指定を、「A:¥windows.98」と入力し「OK」ボタ ンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスク ドライブを「A:」と仮定します。

\bigwedge	
注意	

ファイル「lapcmv34.sys」は、Windows98の CD-ROM 上のファイルとして説明されています が、実際は、本製品に添付されている、 CentreCOM LA-PCM-T V3 用のドライバー ディスクの中に収められています。

ファイルのコピー	×
¥indows 38 CD-ROM 上のファイル lapcmv34.sys が見つかりませんでし た。 ¥indows 38 CD-ROM を選択したドライブ に入れて、[OK] をクリックしてくださ	OK キャンセル
6.10	スキッブ(<u>§</u>)
ファイルのコピー元(<u>C</u>):	詳細(0)
A:¥WINDOWS.98	

図 3.3.0.9 本製品のドライバーの所在

また、次のようなダイアログが表示される場合、 Windows98の CD-ROMが CD-ROMドライプに挿入され ていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで 「OK」ボタンをクリックしてください。

ディスクの挿入		
8	'Windows 98 CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。	
	C OK	

図 3.3.0.10 Windows98 の CD-ROM の要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー 元」に「D:¥WIN98」を入力してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」、AT 互換機を仮定します。PC-9800/PC-9821 の場合は、「Q:¥WIN98N」を指定してく ださい。

Vindows 88 CD-ROM 上のファイル	······
■ dinpesses.all からとうからまとんてし た。 Vindows 98 CD-ROH を選択したドライブ に入れて、[DK] をクリックしてくださ	<u>キ</u> ャンセル
66	スキッブ(<u>§</u>)
ファイルのコピー元(©):	詳細(<u>D</u>)
D:#VIN98	

図 3.3.0.11 Windows98 のファイルの所在の指定



ご使用のコンピュータがプリインストール版で ある場合、「ファイルのコピー元」として 「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してく ださい(AT互換機/PC98-NX)、PC-9800/PC-9821では、「A:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」 を入力してください。

(11)「完了」ボタンをクリックしてください。



図3.3.0.12 更新の完了

(12) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

システム設定の変更		
?	新しんいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?	
	CCUSCO CONTRACTOR	

図 3.3.0.13 再起動の確認

(13)「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」(p.14)を実行してください。

3.4 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除して から行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手 順にならい、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、 あらためてインストール作業を行います。

(1)「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネー ジャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリッ クして表示された「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

システムのプロパティ ? ×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア ブロファイル パフォーマンス
 ● 種類的に表示① ○ 種類的に表示②
■ D^{-2} ■ Q^{-2} •
世 堂 モ_メ

図 3.4.0.1 削除ボタンをクリック

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

デバイス剤	除の確認 ? ×
	Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card
警告 : こ	のデバイスをシステムから削除しようとしています。
	0K ++>tz/L

図 3.4.0.2 デバイス削除の確認

E

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

マステム設定の変更 🛛 🛛 🛛		
?	ハードウェアの削除を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今ずぐ再起動しますか?	
	CALL COLOR	

図 3.4.0.3 再起動では「いいえ」を選択

 (4)「ネットワークアダプタ」の下から本製品のアイコンが消え ていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてくだ さい。

システムのプロパティ 全級 デパイス マネージャ // ードウェア プロファイル パフォーマンス
 種類明に表示(1) (1) 接続別に表示(2)
ユンビュータ エービュータ エーズート ビ ● (M) (2) ソリット じ 愛 キーボート じ 勉 (1) パット ビデス およびゲームのコントローラ ロー ジステム デドバイ ロー ジステム アドバイ ロー ロー ジェスコントローラ ロー マンス ロー ロー マンス ロー マンス ロー マンス ロー マンス ロー マンス ロー マンス ロー ロー ロー ロー マンス ロー ロー
(開じる) キャンセル

図 3.4.0.4 削除後のデバイスマネージャ

- (5) Windows98 を終了し(「スタート」 「Windows の終了」 「電源を切れる状態にする」「OK」ボタン)、コンピュー 夕の電源をオフにします。
- (6) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押し、本製品を 取り外してください。次回の Windows98 起動時から、本製 品のドライバーがインストール されていない状態となりま す。

3.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「3.4 ドライパーの削除」(p.18)の手順にしたがい、本製品のドライパーを削除します。
- (2) Windows98を再起動し、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、「3.1.2 新規インストール」(p.12)の 手順を参考に、ドライバーをインストールします。 本製品のドライバーが自動的にインストールされてしまう 場合には、「3.3 ドライパーの更新」(p.16)を参照して、ドライバーの更新作業を行ってください。

3.6 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、 その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品をPCカードスロットに取り付けた状態 で行ってください。

3.6.1 本製品を認識しない

「正常にインストールできない」場合や、「PCカードが検出され ない」場合、また「3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの 確認」(p.14)にしたがって確認を行うと、「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが以下のようになっている場合は ド ライバーのインストールに失敗しています。

- 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- ・「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが 2 つ以上ある



このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行い ます。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリッ クしてください。
- (2)「3.5 ドライバーの再インストール」(p.18)の手順にした がって、ドライバーをインストールしなおしてください。

3.6.2 デバイスマネージャで「×」が付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンに「×」マークが付いている場合は デバイスが 「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許 可の状態に切り替えてください。

- (1)「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択(反転 表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブ を表示します(図 3.2.1.3 参照)。
- (2)「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで 使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。
- 3.6.3 PCMCIA コントローラが正しく表示さ れない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作しま す。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされてい ない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



ご使用のコンピュータの PCMCIA コントローラ専用ドライバー が、フロッピーディンクなどで提供されていることがあります。 以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコン ビュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されて いる手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってく ださい。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、 どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後 (下記参照)、以下の手順を実行してください。

このようなときは、Windows98 のシステムレポート出力機能を 利用すると便利です。レポートを出力するには、「エントロー ルパネル」「システム」「デパイスマネージャ」とたど り、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では 「すべてのデパイスとシステムの概要」を選択し、以後画面 の指示にしたがってください。



CardBus 対応のエンピュータ機種には 使用する PC カード に応じて2 種類(16bit/32bit)のPCMCIA エントローラを切 り替えなければならない ものがありますのでご注意ください。 詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルもしくは、コン ビュータのメーカーにご確認ください。

「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」(「3.2 インス トールの確認とアダプターの設定」(p.14)参照)にしたがってイン ストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示され る PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付い ている場合は次の手順を実行してみてください。

- (1)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2)「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを 選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (3)「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」 ボタンをクリックしてください。

- (4)「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows98を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、 本製品を PC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード (PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。



Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読 み込んでしまうコンピュータ機種もあります。

- (7)「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)を ダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィ ザード」が起動したら、「次へ >」ボタンをクリックしてく ださい(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間 がかかります)。
- (8)「はい(通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く2 つの質問に対して「次へ>」ボタンをクリックして進みます。 最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザー ドを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が 起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してく ださい。

3.6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作 業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合 は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があり ます。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品 とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソー ス値を Windows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値 が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用さ れないように設定することで、値の重複を回避できます。

- Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの 値(インタラプト(IRQ) I/Oペースアドレス、メモリ、ダ イレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細 は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。また は、メーカーにお問い合わせください。
- (2)「コントロールパネル」 「システム」 「デパイスマネージャ」 「コンピュータ」 「コンピュータのプロパティ」 パネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。 画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録して ください。

4 Windows95

バージョンを確認してください

Windows95 には いくつかのバージョンが存在します。初めに、ご 使用の Windows95 のパージョンを、「システム」(コントロールパ ネル)で確認します。「スタート」 「コントロールパネル」 「シ ステム」 「情報」と進み、システムの番号を確認してください。

^{72万} 4: Microsoft Windows 95 400950 B 使用者: TW
Allied Telesis 00897-OEM-0017841-52476
⊥)t"⊐−9: Pentium() 39.0MB Ø RAM

図 4.0.0.1 システムのバージョン確認



ここでは、Version B(OSR2) での手順に従って説明 します。 Version B/C のインストール手順は同じです が、Version A の場合は手順が異なりますので、その 場合には、注意の説明を参照してください。



以下に挙げる内容は一例です。お客様の環境によっては、 手順などが若干異なることがあます。(本マニュアルで使用 した画面はAT互換機のものです。PC-9800/PC-9821の場 合はディスクドライブ名が異なります。)

4.1 ドライバーのインストール

4.1.1 用意するもの

- ・LA-PCM-T V3 カード本体
- ・コンピュータ(Windows95 インストール済み)
- ・LA-PCM-T V3 ドライバーディスク(本製品に付属)
- ・Windows95 の CD-ROM またはフロッピーディスク



Windows95 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストール された形態で提供されたもの、すなわちブリインストール版で ある場合は、Windows95のパッグアップ CD-ROM が付属し ているかどうかをご確認ください。パッグアップ CD-ROM が 付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクに Windows95のパッグアップを取った後でドライパーのインスー ルを開始してください。パックアップの手順については、ご使 用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

4.1.2 新規インストール

- コンピュータの電源をオンにし、Windows95 を起動してく ださい。
- コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows95 は、本製品を自動的に検出し、「デバイスドラ イバウィザード」が起動します。本製品のドライバーディス クをフロッピーディスクドライブに挿入し、「次へ>」ボタン をクリックしてください。



図 4.1.2.1 「デバイスドライバウィザード」の起動



Version 950/A の場合は、「新しいハードウェア」ダ イアログが表示されます。「ハードウェアの製造 元が供給するドライバ(M)」を選択し、「OK」ボ タンをクリックします。 続いて、「フロッピーディスクからインストール」 ダイアログが表示されますので、フロッピーディ スクドライブに本製品のドライバーディスクを 入れ、「A:¥windows.95」と入力し、「OK」ボタン をクリックします。その後は、手順(8)に進んで ください。

(4) 本製品用のドライバーの場所を指定します。「場所の指定
 (O)」ボタンをクリックします。



図 4.1.2.2 ドライバーの検索場所を指定する

(5) 本製品のドライバーは、本製品に添付されているドライバー ディスクの「¥windows.95」ディレクトリにあるので、「場 所」に「A:¥WINDOWS.95」と入力し、OKボタンをクリッ クします。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」 と仮定します。

場所の指定	×
使用するドライバがあるフォルが名を入力してください。[参照]を外っけするとフォルがのあ	能索ができます。
場所①	
AwwinDows.95	参照(R)_
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Autorited
	11700

図 4.1.2.3 ドライバーのパスを入力する

(6) ドライバの場所が「Windows.95」となっていることを確認し、完了ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。
	Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card
	このドライバを使用する場合は、[完了] を押してください。 別の ドライバを検索したい場合は、[場所の指定] を押してください。
	Windows 55 場所の指定(Q)
	< 戻る(B) <u>売了</u> 4 やンセル

図 4.1.2.4 インストールするドライバーの確認

(7)「デバイスドライバウィザード」は下の画面を表示します。 画面の内容を読んだ上で、「完了」ボタンをクリックしてく ださい。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。
	Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card
	このトライバを使用する場合は、「完了」を押してください。別の ドライバを検索したい場合は、「場所の指定」を押してください。
🗞 📚	ドライバの場所

× 1	場所の指定(○)
	〈 戻る(四) 元了 キャンセル

図 4.1.2.5 ドライバーの検索の終了

(8) 途中で、次のようなダイアログが表示される場合は、フロッ ビーディスクドライブに本製品のドライバーディスクが 入っていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで 「OK」ボタンをクリックしてください。

ディスクの持	¥
8	Windows 95 Disk2' ラベルの付いたディスがを挿入して [OK] を押してください。
	<u> </u>

図 4.1.2.6 ドライバーディスクの要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー」 ダイアログで、「ファイルのコピー元」にパスの指定を、 「A:¥windows.95」と入力し「OK」ボタンをクリックして ください。ここでは、フロッピーディスクドライプを「A:」 と仮定します。



7ァイルのコ	t*	×
_	Windows 95 Disk2 上のファイル lapomv3.sys が見つ かりませんでした。	ОК
	Windows 95 Disk2 を灌択したドラクバン入れて、 [OK] を押してください。	キャンセル
		スキッフでSD
	7ァイルのユビー元©:	#¥88(D)
	a¥windows.95 💌	

図 4.1.2.7 ファイルのコピー元の指定(本製品)

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows95 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを 確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをク リックしてください。

ディスクのオ	₹入 ×
8	"Windows 95 Disk3 ラベルの付いたティスクを挿入して [OK] を押してください。
	Q

図 4.1.2.8 Windows95 ディスクの挿入



次のダイアログが表示される場合は、「ファイル のコピー元」に「C:¥windows¥options¥cabs」 を入力してください(AT互換機/PC98-NX) PC-9800/PC-9821 では「A:¥windows¥options¥cabs」と なります。

ファイルのコ	£	×
	Windows 95 Disk3 上のファイル netapidll が見つか リませんでした。	ОК
	Windows 95 Disk3 を選択したドライアに入れて、 [OK] を押してください。	+e)til
		スキップ(S)
	7ァイルの北~元②	詳細(D)
	C:#WINDOWS#OPTIONS#CABS	

図 4.1.2.9 パスの指定 (プリインストール版)



インストール元のメディアとして CD-ROM、フ ロッピーディスクを使用する場合は、以下のよう にパスを指定してください。

フロッピーディスクの場合 指示された番号のディスクをフロッピーディス クドライブに入れ、「ファイルのコピー元:」で 「A:¥」を入力してください。通常、drv: は AT 互 換機/PC98-NX では A:、PC-9800/PC-9821 では B: となります。

CD-ROM の場合 CD-ROM をドライブに挿入し、「D:¥WIN95」を入 力してください。(ここでは、CD-ROM ドライブ を「D:」と仮定します。)

(9) コピーが終了すると、次のダイアログが表示されますので、 コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明 (省略可)の入力をします。これらの情報については、お客 様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

ネットワーク	? ×
ネットワークの設定 ユーザ	「椿輔」アクセス権の管理
次の情報 ます。ここ 説明を入っ	は、キットワーク上でコンピューク交記書するために使われ りコンピューダの名前と所属するワークウルーフ・名、簡単な りしてください。
1)北"1-9名:	PC1
7−ንታነ⊮−ን*:	GROUP1
コンピュータの説明:	
	OK ++2/2/

- 図 4.1.2.10 「ユーザー情報」の入力
- \bigcirc

コンピュータ名およびワークグループ名の入力 には、15文字以下の半角文字を使用します。詳細 は、Windows95のマニュアルおよびオンラインヘ ルプをご覧ください。また、このダイアログをイ ンストール後に変更する場合は、「コントロール パネル」「ネットワーク」を起動し、「ユーザー 情報」タブを選択してください(既にこのダイア ログの内容が設定されている場合、このダイアロ グはドライバーのインストール中に表示されま せん)。

(10)ダイアログ「システム設定の変更」が表示されます。フロッ ビーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「今 すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」ボ タンをクリックし、再起動してください。以上でインストー ルは終了です。



図 4.1.2.11 システム設定の変更確認



ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドラ イバをインストールしたことがある場合、このダイアログが表示 されないこともあます。この場合も必ず再起動して、本製品のドライバーを有効化してください。

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。 LAN 環境で TCP/IP をご使用になる場合は、 DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。



図 4.1.2.12 DHCPのメッセージ

4.2 インストールの確認とアダプター の設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認 し、さらに必要な設定を行います。

- 4.2.1 デバイスマネージャによるインストール の確認
- コンピュータの再起動が完了したら、「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。
- (2)「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「PCMCIA ソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が、「ネットワークアダブタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示されます。



図 4.2.1.1 デバイスマネージャ



ご使用のコンピュータが CardBus 対応モデルであ り、かつ PCMCIA コントローラが 16bit/32bit 共用 タイプである場合、PCMCIA コントローラは同じ 名称が 2 列以上表示されます。 本製品のアイコンに「?」「!」のマークがついていたり、「そ の他のデバイス」「不明なデバイス」の下にある場合は、イ ンストールに失敗しています。詳しくは、「4.5 ドライバー のトラブル」(p.25)をご覧ください。

(3)「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択(反転 表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。 「情報」タブを選択し、「デバイスの状態」欄に「このデバイ スは正常に動作しています。」と表示されていることを確認 してください。

Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Cardの7泊ハライ ? 🗙
情報ドライバーリソース
Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card
デバイスの種類: ネットワークアダブラ
製造元: Allied Telesis K.K. ハートウェアのパージョン: 情報なし
「デパイスの状態
このデパイスは正常に動作しています。 🤤
- デがイスの使用
ロミアの小下の評議達や使用不可にする
ОК * е/е/

図 4.2.1.2 本製品のプロパティ (「情報」タブ)



Version B/C で、「ドライパ」タブを選択すると、 「このデバイスにはドライバファイルが必要でな いか、または組み込まれていません。」というメッ セージが表示されることがありますが、使用上、 支障はありません。安心してご使用ください。

 (4) 本製品が使用する I/Oアドレス、インタラブト (IRQ) など は Windows95 によって自動的に設定されます。「リソース」 タブを選択すると、これらを確認することができます。

Allied Telesis LA-PCM	V3 Ethernet Cardのプロバティ	? ×
「情報」 ドライバ リソー	7	
Allied Te	lesis LA-PCM V3 Ethernet Card	
リソースの設定(<u>R</u>):		
リソースの種類	設定	
I/O ホート アドレス	02C0 - 02DF	
IRQ	10	
。 設定の登録名(B):	基本設定 0000	-
設定の変更し) 🗌 自動設定(1)	
競合するデバイス:		
競合なし		4
	ОК	キャンセル

図 4.2.1.3 本製品のプロパティ (「リソース」タブ)

4.2.2 PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示されていることを確認します。

PC //
ソケットの状態 設定
Pc カードを取りはずすには、一覧から選んで〔終了〕を りっしてください。(T)
● (空) - ソカット 1 野Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card - ゾウット 2
終7©
 ✓ タスクパー上にコントロールを表示する(H) □ 終了前にカードが取りはずされたら、警告を表示する(D)
キャンセル 更新心

図 4.2.2.1 ソケットの状態

4.2.3 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには(WWW プラウザーなどをご使用になるためには)TCP/IPプロトコルが必須です。設定に関する詳細は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

2017-0 ? x
ネットワークの設定ユーザー情報
現在のネットワーク構成(10):
Microsoft ネットワーク クライアント NetWare ネットワーク クライアント
副Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card 「IPX/SPX 互換711-11-11
3 NotBEUI
追加(4) 削除(12) 711/7(12)
優先的にログオンする
Microsoft ネットワーク クライアント
ファイルとフリンタの共有(E)
「説明
OK ++7/21/

図 4.2.3.1 プロトコルなどの設定

必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタ ンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されま す。設定内容は、再起動後から有効となります。

4.3 ドライバーの削除

(1)「コントロールパネル」 「システム」 「デパイスマネー ジャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択し、「削除(E)」 ボタンをクリックしてください。



図 4.3.0.1 システムのプロパティ(削除)

(2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

デバイス削損	10)6記 ? ×
	Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card
警告:こ	のデバイスをシステムから削除しようとしています。
	OK ++>tu

図 4.3.0.2 デバイス削除の確認



Windows95 Version Cの場合、削除に関する選択肢 が表示されますので、「すべての設定から削除」ラ ジオボタンを選択して、「OK」ボタンをクリック してください。

 (3)「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えたことを確認し、 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックし てください。

2774007°DΛ'74 ? ×
情報 デバイスマネージャ ハートウェア環境 ハフォーマンス
 ● 種類別に表示① ○ 接続別に表示②
◆ ● FORCIA 1994 ● ● FORCIA 1994 ● ● FORCIA 1994 ● ● FORCIA 1997 ● ● FORCIA 1977 ● ● FORCIA 197 ● ●

- 図 4.3.0.3 削除後のデバイスマネージャ
- (4) タスクバーの PC カードアイコンをダブルクリックします。



(5)「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示されます。本 製品が挿入されていたソケットの表記が「-」(画面では「-ソワット2」)となっています。該当するソケットを選択して、「終 了」ボタンをクリックしてください。

まずすに いの	は、一覧から		
		遣んで1終了.]を
表示する	νH)		
ずされた	ら、警告を表示	示する(型)	
ŧ	'ant:	されたら、警告を表	されたら、警告を表示する(2)

図 4.3.0.5 デバイス削除後の「ソケットの状態」

(6) 「OK」ボタンをクリックしてください。

- ንንታኑ	2
٩	このデバイスは安全に取りはずせます。
	ОК

図 4.3.0.6 PC カード取り外しの確認

- (7) PC カードスロットから本製品を抜きます。
- (8)「PC カード(PCMCIA)のプロパティ」の「ソケットの状態」で該当スロットが「空」と表示されます。

PC かード (PCMCIA)のプロバティ 22 区 ソケットの状態 設定
PC カートを取りはずすには、一覧から遅んで「終了」を 別ったしてださい。(D)
▶ (空) - 沙水 1 ● (空) - 沙水 2
終7©
▶ タスケパー上にコンロールを表示する(出)
□ 終了前にルートルが切りますこそれころ、書書で表示する回
OK ト キャンセル 更新(点)

図 4.3.0.7 取り外し後の「ソケットの状態」

(9) タスクバー上でPCカードアイコンが消えていることもご確認ください。以上で削除の手続きは終了です。



図 4.3.0.8 PC カード取り外し後のタスクバー

4.4 再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1)「4.3 ドライバーの削除」(p.24)の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。
- (2)「4.1.2 新規インストール」(p.21)の手順にしたがい、本製 品のドライバーをインストールします。

4.5 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、 その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品をPCカードスロッHに取り付けた状態 で行ってください。

4.5.1 本製品を認識しない

「正常にインストールできない」場合や、「PC カードが検出され ない)」場合、また「4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの 確認」(p.23)にしたがって確認を行うと、「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが以下のようになっている場合は、ド ライバーのインストールに失敗しています。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- ・「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが2 つ以上ある
 - 「ネットワークアダブタ」の項目がないとか、本 製品のアイコンが「その他のデバイス」や「不明 なデバイス」の下に入ってしまう原因として、ド ライバーのインストール中に行われるWindows95 関連ファイル (netapi.dll など)のインストールを キャンセルしてしまった場合などが考えられま す。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行い ます。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリッ クしてください。
- (2)「4.4 再インストール」(p.25)の手順にしたがって、ドライ パーをインストールしなおしてください。

4.5.2 デバイスマネージャで「×」が付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンに「×」マークが付いている場合は デバイスが 「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許 可の状態に切り替えてください。

- 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択(反転 表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「情報」タブ を表示します(図4.2.1.2参照)。
- (2)「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで 使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。
- 4.5.3 PCMCIA コントローラが正しく表示さ れない

本製品のドライバーは PCMCIA コントローラと協調して動作しま す。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされてい ない状況では本製品のドライバーは動作することができません。



ご使用のコンピュータのPCMCIAコントローラ専用ドライバー が、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。 以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコン ピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されて いる手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってく ださい。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、 どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後 (下記参照)、以下の手順を実行してください。



このようなどきは、Windows95 のシステムレポート出力機能を 利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロー ルパネル」「システム」「デパイスマネージャ」とたど り、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では 「すべてのデバイスとンステムの概要」を選択し、以後画面 の指示にしたがってください。



CardBus 対応のコンピュータ機種には、使用する PC カード に応じて 2 種類(16bit/32bit)の PCMCIA コントローラを切 り替えなければならない ものが あますのでご注意ください。 詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルもしくは コン ピュータのメーカーにご確認ください。

「1. デパイスマネージャによるインストールの確認」(「4.2 インス トールの確認とアダプターの設定」(p.23)参照)にしたがってイン ストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示され る PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付い ている場合は、次の手順を実行してみてください。

- 「コントロールパネル」 「システム」 「デパイスマネー ジャ」と進みます。
- (2)「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを 選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

- (3)「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」 ボタンをクリックしてください。
- (4)「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、 本製品を PC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。



- (7)「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)を ダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィ ザード」が起動したら、「次へ>」ボタンをクリックしてく ださい(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間 がかかります)。
- (8)「はい(通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く2 つの質問に対して「次へ>」ボタンをクリックして進みます。 最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザー ドを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が 起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してく ださい。

4.5.4 リソース値重複の回避

前述の 手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品 とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソー ス値を Windows95 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値 が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用さ れないように設定することで、値の重複を回避できます。

- Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの 値(インタラプト(IRQ) I/Oペースアドレス、メモリ、ダ イレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細 は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。また は、メーカーにお問い合わせください。
- (2)「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」 「コンピュータ」 「コンピュータのプロパティ」 パネル 「リソースの予約」と進みます。

(3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。 画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録して ください。

5 Windows NT Ver. 4.0

本製品のドライパーを Windows NT Ver.4.0 上にインストールする 手順を説明します。なお、本マニュアル では Windows NT Workstation を用いて説明を行います。

5.1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。

各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスド(Windows NT / シ ケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ 機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任におい てご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使 用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただ きますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用 するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画 面が異なることがあります。予めご了承ください。



本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に 行うことは避けてください。 必ず、Windows NT のインストー ルを完了したあどで、本製品のインストールを行ってください。 Windows NT は Plug&Play をサポートしていないため、 Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、 Windows NT のインストール中に本製品が使用するハード ウェアリンースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複 の回避に手間取ることがあります。



Windows NT では活線挿抜(コンピュータの電源をオンにし たまでカードの抜き差しを行うこと)はできません。本製品 の抜き差しを行う際には必ずコンピュータの電源がオフになっ ていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合 に起こった障害についてはユーザーホートの対象外とさせ ていたざきますので予めご了承ください。

5.2 ドライバーのインストール

ここでは、「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク 環境が全くインストールされていない」場合のインストール手順につ いて説明します。また、Windows NT か要求する問い合わせに対し て、基本的にはデフォルトで答えると仮定しています。



「ネットワーケアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が 全くインストールされていない」、場合とは、「Windows NT ネッ トワークのインストール」で「おだネットワークに接続しない(D)」 を選択したとき、このダイアログが表示されます。

5.2.1 用意するもの

- ・ LA-PCM-T V3 カード本体・メディアケーブル等
- ・コンピュータ(Windows NT 4.0 インストール済み)
- ・Windows NTの CD-ROM
- ドライバーディスク(2 種類のディスクが付属しています。
 コンピュータ機種に応じてご使用ください)

5.2.2 リソースの確認

5.2.2.1概要

Windows NTは Plug & Play をサポート していないため、本製品が 使用するリソースの値をドライバーのインストール時に設定する必要 があります。そのため、ドライバーをインストールする前にリソースの 空き状況を調べる必要があります。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出 荷時の値 (「5.2.2.2 リノースの値」参照)が 他のデバイスによって既に使 用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値を変更 します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイ アログで行います。)そのため、ドライバーをインストールする前に値 が重複していないかを確認し、重複している場合は空いている値を 調べてください。

リソースの状況を調べるには コンピュータメーカーで予め定めてあ るデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。ま た、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについ ては「Windows NT診断プログラム」(「5.2.2.3 Windows NT診 断プログラムの使用方法」参照)を使用するとそれらの拡張デバイ スを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。

A コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には 「Windows NT 診断ブログラム」上に表示されないものがあ しますので、必ずコンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断ブログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

5.2.2.2リソースの値

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。() 内の表記は 16進数です。

・ 1/0ベースアドレス

初期設定値	0x300			
設定可能な値	0x200、	0x220、	0x240、	0x260,
	0x280、	0x2A0、	0x2C0、	0x2E0,
	0x300、	0x320、	0x340、	0x360,
	0x380、	0x3A0、	0x3C0、	0x3E0

IRQ(AT互換機 /PC98-NX)
 初期設定値 10(A)
 設定可能な値 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

- IRQ(PC-9800/PC-9821)
 初期設定値 5
 設定可能な値 3, 5, 6, 10(A), 12(C)
- 5.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方 法

 (1)「スタート」「プログラム」「管理ツール」「Windows NT診断プログラム」と進み、「Windows NT診断プログラム」を起動します。

		_	(i) x9-1797 ⁺	
	7°07'54@)	_'	□ 管理?=↓(共通)	🖳 🗸 Windows NT 紹明7泊ゲラム
E 🔷	- 最近使ったファイル(<u>D</u>)	•		🔛 (147)) t'a=7
static	18(2)(S)	,		達 ディスク アドシニストレータ 量 パックアップ
5 🔍	検索の	•		👹 ハウォーマンス モニタ
2	ND'H)			1100 ユーザー マネージャ 1150 リモート アウセス管理
i 🖉	7ァイル名を指定して実行(E).			
1	- WCMH992W-			
1 x9-1				

図 5.2.2.1 Windows NT診断プログラムの起動

(2)「リソース」タブを選択します。この段階では「IRQ」(イン タラプト)の画面が表示されています。IRQの空き状況の参 考にしてください。デバイスの中には、この画面に表示され ないものもありますので、必ずコンピュータのマニュアルな ども確認してください。

最 Windows NT 診断7泊ゲラム - ¥¥ESTEFAN ファイル(E) へんつて近	_ _ X
パージョン システム ディスフルイ トライフ メモリ t	ナービス リソース 環境
\land	HAL リソースを含める(H) 🔲
IPC 1.5 /n 1/2. 01 8042p+t 03 Sorial 04 Serial 05 Fispey 12 6/10 /n 1/2 14 atapi	1 //7. 1 /828 0 (SA 0 (SA 0 (SA 0 (SA 0 (SA 0 (SA 0 (SA 0 (SA
IROUP VO ボート灯 DMA(空) ブリハラボ(空) 最新の情報に更新(空)	У ЕПФИД 7*//2(У) О ХНИДО 7*//2(У)



(3)「I/O ポート」タブを選択し、I/O Base Address (「アドレス」の先頭値)の空き状況の参考にしてください。

■ Windows NT 診断7泊ゲラム - ¥¥ESTEFAN ファイル(E) へんつてい	_ 🗆 ×
パージョン システム ディスプレイ ドライブ メモリ サービス リソー	-ス 環境
	HAL リソースを含める(H) 🗖
7/1/2 9/1/2 080 - 006 80/05rt 80/05rt 080 - 006 80/05rt 80/05rt 010 - 0.06 80/05rt 90 010 - 0.06 80/05rt 90 010 - 0.06 90 90 010 - 0.06 90 90 010 - 0.06 90 90 010 - 0.06 90 90 010 - 0.06 90 90 010 - 0.06 90 90 010 - 0.06 70 92/94 010 - 0.06 7 92/94 010 - 0.06 7 92/94 010 - 0.06 7 92/94 010 - 0.06 7 92/94 010 - 0.06 7 92/94 010 - 0.06 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 - 0.07 7 92/94 010 -	<u>ハス2</u> 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
211/74(P) 最新の情報に更新(B) E	UNBILDO K

図 5.2.2.3 リソースの表示 (I/O Base Address)

(4) Windows NT診断プログラムを終了します。

5.3 ドライバーの新規インストール

- (1) コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワークに接続します。
- (3)「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」と進み、 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



図 5.3.0.1 「ネットワーク」(コントロールパネル)

(4) 下のダイアログが表示されます。「今す ぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。

ネットワーク	の構成
⚠	Windows NT ネットワークがインストールされていません。 今すぐインストールしますカ??
	TRAY ULIZO

図 5.3.0.2 ネットワークのインストール開始

- 「Windows NT ネットワークのインストール」で 「まだネットワークに接続しない (D)」を選択した とき、このダイアログが表示されます。このダイ アログではなく「ネットワーク」パネルが表示さ れた場合は、既にネットワーク」パネルが表示さ れた場合は、既にネットワークに関する WindowsNT ファイルがインストールされていま す。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダ ブタ」タブ 「追加」と進むと、手順(7)の図 5.3.0.5 の画面が表示され、本製品のみのインス トールが始まります。
- (5)「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示 されます。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを 付け、「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ・ウィサー	このひゃっつなおいの一切に参加させる方洋水将宿してくだね」。
	P-5 ○ Fがワースに接続の コンピュータは、ISDN アタフラまたはネットワークアタフラはよって ネットワークに接続します。
	ジョー ネットワーカニリモート アクセス(8). コンピュータは、モデムを使ってネットワークにリモート指続します。
	〈 戻る(四) 次へ(図) 〉 キャンセル

図 5.3.0.3 「ネットワークウィザード」の起動

(6) 次の画面が表示されたら、「一覧から選択(S)…」ボタンをク リックしてください。

ネットワーク セットアップ ウィザー	r -
	[検索開始] さりゅうするとキャトワーク アタフキの検索を開始します。
	検索開始(①) ネットワーク プラブ (364):
	一報から諸府(5)
	< (#200 2000) ++201

図 5.3.0.4 ネットワークアダプタは一覧から選択

(7) 「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.5 ネットワークアダプタの選択にディスクを使用

(8) 次のダイアログが表示されますので、ドライバーディスクを ディスクドライブに挿入し、パス「A:¥windows.nt¥40」を 入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(ここでは、 フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。)

7075*- 7*1	スクの挿入	×
ġ.	771や27またはハードウェアの要認定力から提供された、ソフトウェア ディスクを増入してくたち、しこのディスクのアメ自か目的のドラインや ディルクジルとにある場合は、そのハスセリ、ドに入力してくどさい。	0K 4+)セル
	A:#windows.nt#40	

図 5.3.0.6 ドライバーファイルの所在の指定

(9)「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「OK」ボタ ンをクリックしてください。

OEM わ ^r a)の選択
ハートウェア製造元のディスクでサポートされている ソフトウェア を選択してください。
CentreCOM LA-POM V3 Adapter
<u> </u>

図 5.3.0.7 選択するドライバーを確認

(10)「ネットワークアダプタ (A):」の「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」にチェックマークを付け、「次へ (N):」ボタンを クリックしてください。

₹9k7~9 €9k793*94#~k*	
	(6)末時間2 セガデオ シンイル/ーリアナブルの60末を計算します。 検索開始500
	ネットワーク アダブ学会). I 型 CentreCOM LA-POM V3 Adapter
	一覧から選択(5)
	〈栗る田〉 (次へ田) (キャンセル

図5.3.0.8 ドライバーファイルの検索開始

(11)使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、
 「次へ (N):」ボタンをクリックしてください。(詳細はシステ

ム管理者にご相談ください。) ここでは、「TCP/IP プロトコ ル」のみをチェックすると仮定します。

ネットワーク セットアッフ・ウィザニー	<i>*</i>
	ネットワークで使用するネットワークフロトコルを選択してください。不可な場合 しよ、システム管理者に利用してください。
	そりビーク 2111-34(29) ▼ 〒 1039129 311343 雪 T MULAN IRX/SPIX 至1歳トランスポート 雪 T MULAN IRX/SPIX 至1歳トランスポート
	- 顎から違柄型 - 顎から違柄型 < 戻る(20) 次へ(20) 年やため。

図 5.3.0.9 使用するネットワークプロトコルをチェック

(12)使用するサービスを設定し、「次へ(N)>」ボタンをクリック してください。お客様のネットワークでどのようなサービス が使用されているかは、システム管理者にご相談ください。

トゥトワーク セットアッフ・ウィザニー	ķ¢.
	次の一間には、シ25はことってイン2にんされるサービスが示されています。 (一覧から通信)をゲックするとこの一類ご意識できます。
	 →H/>・ラービスD ○ ■ Department ○ ■ Une Biols C (2)→フェ(ス ○ ■ ワージス(→) ○ ■ サーバー
	-覧から選択(5). < 戻み(2) 次へ(2) オヤンセル

図 5.3.0.10 使用するサービスをチェック

(13) メッセージを確認して、「次へ (N)>」ボタンをクリックして ください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザー	ł'
	増加されたオリハウ・コボーオットとパオはこを開なオリク・フボーオッキ インボーシュ インボーンズンボーマンドを注しくインスールするために、必要に応じて イリカリアメディンドます。
	したへ」を外がすると選択されたコポーキハを行ストールます。 運営を変更するには【限品を分がしてくたさい。
	〈 戻る(四) (次へ回) キャンセル

図 5.3.0.11 ネットワークコンポーネントのインストール 開始

(14) Windows NT のインストール元のディレクトリを指定して ください。AT 互換機の場合は「¥I386」、PC-98 の場合は 「¥PC98」となります。(ここでは CD-ROM のドライブ名を 「D:」と仮定します。)



図 5.3.0.12 WindowsNT ファイルの所在の指定

(15)続いて、本製品の設定画面が表示されます。「IRQ(インタ ラプト)」と「IOBase Address(I/Oベースアドレス)」は 他のデバイスと重複しない適切な設定値を選択し、「OK」ボ タンをクリックしてください。下記画面は、AT互換機 / PC98-NXにおけるデフォルトの例です。PC-9800/PC-9821の場合、デフォルトの IRQ は「5」となります。

CentreCOM LA-PCM V3 LAN Card		×
IRQ :	A	•
IO Base Address :	300	•
ОКСа	ncel	HELP

図 5.3.0.13 本製品の設定確認(AT 互換機 /PC98-NXの例)

(16) ドライバーおよび Windows ファイルのコピーが始まります。手順(11)で「TCP/IP」を選択した場合はここで「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ(N)」ボタンをクリックすると仮定します。

TCP/IP	* to \$7.77
⚠	マットワーク上に DHOP サーバーが表示場合は、動約15 IP パリンを提供するように TOP/IP を構成することができます。 不明な場合は、システム管理者に語、「合わせてくたさ」、DHOP を使用しますカツ
	ISTIC LICE

図 5.3.0.14 DHCP メッセージ

(17) 手順(16) で「DHCPを使用しない」設定とした場合は「TCP/ IPのプロパティ」として IP アドレスなどの値を設定しなけ ればなりません。これらの値は、お客様の環境における値を 入力してください。

Microsoft TCP/IPのプロパティ ? 🗙
IP 71/12 DNS WINS 71/12 10-71/97
DHOP サーバーから IP アドレスを取得し、このネットワークアダフタカートに自動的 に変別 当ててことができます。ネットワーガに DHOP サーバーがない 場合は、 ネットフ・安都者にアドレスを聞い合わせて、そのアドレスを下の本ックスに入力し てください。
7岁"为使): [1] CentreGOM LA-PCM V3 Adapter
○ DHCP サーバーから IP 7ドルスを取得する(2)
IP 7 1/2 Q: 150 87 28 110
サフネットマスク(型): 265 255 255 0
デウォルトケートウェイ(G): 150 87 28 32
■¥\$80(①)…
OK 単ヤンセル 適用(A)

図 5.3.0.15 TCP/IP の設定 (「IP アドレス」タブ)

(18) DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」の タブをクリックして、各項目を設定してください。下は起動 時の画面です。

Microsoft TGP/IPのプロパティ ? 🗙
IP アドレス DNS WINS アドレス ルーディング
1/1/2 2=1 1/771 (DNS)
ホスト名(1): ドンイン(0):
estefan tw.allied-telesis.co.jp
- DNS サードスの検索順序(S)
150.9724.1 150074016 上へ迎す
+ (4)~7
道加
twallied-telesis.co.jp allied-telesis.co.jp
下へ(1)+
きゃンセル 適用(<u>A</u>)

図 5.3.0.16 TCP/IP の設定 (「DNS」タブ)

(19) 続いて、「WINS(Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を行います。次の画面では、「Windows 名前解決 に DNSを使う (N)」を選択すると仮定しました。

Microsoft TCP/IPのプロパティ ? ×
IP アドレス DNS WINS アドレス ルーティング
-Windows (フターネット ネーム サービス (WINS)
[1] CentreCOM LA-PCM V3 Adapter
ブライマリ WINS サーパー(M).
セカンタリ WINS サーハー(S):
図 Windows 名前解決に DNS を使う(N)
✓ LMHOSTS 参照を行う(B) LMHOSTS を取り込む(Q
χ-γ° ΰΦ.
(OK キャンセル 適用(A)

図 5.3.0.17 TCP/IPの設定 (「WINS アドレス」タブ)

必要であれば さらに「ルーティング」の設定を行し最後に「OK」 ボタンをクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシス テム管理者にご確認ください。



この画面は Windows NT Workstation のものです。 Windows NT Server をご使用の場合はさらに 「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーに ついての詳細は Windows NT Server のマニュアル またはオンラインヘルプをご覧ください。

(20)「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.18 バインドの確認

(21)「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.19 ネットワーク起動の確認

(22)「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。ここでは「ワー クグループ(W)」をそのまま使用すると仮定します。詳細は システム管理者にご確認ください。

*>+7-7 t=+7>7*9+4+-+*	コイニッキャーゲルーフまたはホンイのジンシリこを知らせるかを運用し、そ のな事を入れててたな、しこちが支援サイドはエル、後の人は人力 する名前がかからない場合はよれや小学生基本に優多くしてし、
	2)ピュージを5(g): ESTEFAN - 次のパパー- の ワーグがーフで30/E
	C F37型 □ 32/5-9 77074のP455(型) (夏2/型) (12/2) (12

図 5.3.0.20 ワークグループなどの確認

(23)「完了」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.21 インストールの完了

(24)「はい(Y)」ボタンをクリックし、(フロッピーディスクを取 <u>り出して</u>) コンピュータを再起動してください。

ネットワーク	設定の変更
⚠	新しい設定を有効にするには、コピュータを再起動する必要があります。 今すぐコンピュータを再起動しますか?
	UIUN Diaw

図 5.3.0.22 再起動の確認

5.4 インストール後

5.4.1 リソースの確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使 用可能な状態となります。 Windows NT 診断プログラムでデバイス 「lapcmv34」にインストール時に指定した値(IRQ およびI/O ポー トの値)が割り当てられていることを確認してください。

N-942 9274 74274 F947 XU	サービス「リソース」環境「	ネットワーク
	HAL リソースマ	きおめる田) 🗖
IBO 7/1/12 01 8042pt1 03 54rial 04 54rial 05 Election 06 Election 10 Inpermi44 112 adorgent 12 adorgent 14 atepi	1/17. 0 0 0 0 0 0 0	種類 SA SA SA SA SA SA SA
) AUM	デハ [:] イス <u>い</u>)





「デバイス」タブ 「lapcmv34」と魅いと、本製品に割り当 てられたリソースが一覧表示されます。(ただし、メモリにつ 注意 いては表示されません。)

5.4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき(= PC カードスロットに本製品が挿入されていない またはネットワーク ケーブルをメディアケーブルから外している場合など) はドライバー をアンロードしてください。ドライバーがロードされたまま前述のこと を行った場合、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラー として検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになり ます。この現象はドライバーをアンロードすることによって回避でき ます。

- 「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「パインド」 と進みます。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックする と本製品のアイコンが無効アイコンに変わります。
- (3) 同様の手続きを、本製品にバインドしているプロトコル全て に行います。

5.5 ドライバーの削除と再インストー ル

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のと おりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドして いたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例えば TCP/IPにおける IP アドレスなどは削除されます)。したがって、本 製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスな どを使用できます。

- 5.5.1 ドライバーの削除
- (1)「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネット ワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダ ブタ」タブをクリックしてください。
- (2)「ネットワークアダプタ (N):」で「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてくだ さい。

2-yh9-9	? ×
識別 サービス フロトコル アタフタ ハイハト	
ネットワーク アダン '\$V <u>(N</u>):	
B [1] CentreCOM LA-PCM V3 Adapter	11
追加る	i I
項目の説明(0):	1
CentreCOM LA-PCM V3 Adapter	1
OK ++v201	

図 5.5.1.1 ネットワークアダプタを削除

 (3)「はい」ボタンをクリックし、(<u>フロッピーディスクがフロッ</u> ビーディスクドライブに入っている場合は取り出して)コン ビュータを再起動します。



図 5.5.1.2 再起動の確認

5.5.2 再インストール

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合は「ネットワーク」 (コントロールパネル)を起動し、「アダプタ」タプで「追加…」を クリックしてください。

(「5.3ドライバーの新規インストール」の手順(7)から再開することになります。)

5.6 ドライバーのトラブル

「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、ネットワークに接続されているコンピュータが参照できない。

上記のような現象が見られ、本製品が正しく動作しない場合は、インストール中に設定した「IRQ(インタラプト)」、「IO Base Address (I/O ペースアドレス)」の設定が、別のデバイスと競合していること が考えられます。

「5.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法」(p.28)を参照し、デバイス「lapomv34」に正しくリソースが割り当てられていることを確認してください。正しくリソースが割り当てられていない 場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」と進み、アダプ タタプで「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「プロ パティ」ボタンをクリックして、「IRQ(インタラプト)」、「IO Base Address (I/Oペースアドレス)」の設定を変更してみてください。

6 Windows NT Ver. 3.51

本製品のドライバーを Windows NT Ver. 3.51 上にインストールす る手順を説明します。なお、本マニュアルでは Windows NT Workstationを用いて説明を行います。

6.1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。 各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘル プをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リス(Windows NT パッ ケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ 機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任におい てご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使 用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただ きますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用 するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画 面が異なることがあます。予めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NT のインストールと同時に 行うことは避けてください。必ず、Windows NT のインストー ルを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。 Windows NT は Plug&Play をサポートしていないため、 Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、 Windows NT のインストールに本製品が使用するハード ウェアリンースが他のデパイスと重複するそれがおり、重複 の回避に手間取ることがおます。



Windows NT では活線挿抜(コンピュータの電源をオンにしたますてカードの抜き差しを行うこと)はできません。本製品の抜き差しを行う際には必ずコンピュータの電源がオフになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合に起こった障害について(はユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください)。

6.2 ドライバーのインストール

「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全く インストールされていない」場合のインストール手順について説明し ます。また、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的 にはデフォルトで答えると仮定しています。



「ネッドワークアダプター用ドライバーを含むネッドワーク環境が 全くインストールされていない」場合さは、「Windows NT ネッ トワークのインストール」で「まだネッドワークに接続しない(D)」 を選択した場合に相当します。

6.2.1 用意するもの

- ・LA-PCM-T V3 カード本体・メディアケーブル等
- ・コンピュータ(Windows NT 3.51 インストール済み)
- ・Windows NT の供給ディスク(フロッピーディスクまたは CD-ROM)
- ・ドライバーディスク(2 種類のディスクが付属しています。
 コンピュータ機種に応じてご使用ください)

6.2.2 リソースの確認

6.2.2.1 概要

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品が 使用するリソースの値をドライバーのインストール時に設定する必要 があります。そのため、ドライバーをインストールする前にリソースの 空き状況を調べる必要があります。

本製品のドライバーに組み込まれているJソースの工場出荷時の値 (「6.2.2 リソースの値」参照)が、他のデバイスによって既に使 用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値を変更 します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイ アログで行います。)そのため、ドライバーをインストールする前に値 が重複していないかを確認し、重複している場合は空いている値を 調べてください。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定めてあ るデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。ま た、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについ ては「Windows NT診断プログラム」(「6.2.2.3 Windows NT診 断プログラムの使用方法」参照)を使用するとそれらの拡張デバイ スを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。



コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には 「Windows NT診断プログラム」上に表示されないものがあ しますので、必ずコンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

6.2.2.2リソースの値

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。() 内の表記は 16進数です。

・1/0 ベースアドレス				
初期設定値	0x300			
設定可能な値	0x200、	0x220、	0x240、	0x260、
	0x280、	0x2A0、	0x2C0、	0x2E0,
	0x300、	0x320、	0x340、	0x360、
	0x380、	0x3A0、	0x3C0、	0x3E0
・IRQ(AT 互換機 /PC	C98-NX)			

初期設定値	10(A)
設定可能な値	3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

•	IRQ (PC-9800/PC-	-9821)
	初期設定値	5
	設定可能な値	3, 5, 6, 10(A), 12(C)

- 6.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方 法
- (1)「プログラムマネージャ」「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」 を起動します。



図 6.2.2.1 Windows NT診断プログラムの起動

(2) 「IRQ/ ポートの状態」を選択します。



図 6.2.2.2 IRQ/ ポートの状態

(3)「割り込み / ポート」画面が表示されます。割り込み (IRQ) は「ペクタ」を、ポート (I/Oアドレス)は「物理アドレス」 の欄を、それぞれご覧の上、空き状況の参考にしてください。デバイスの中には、この画面に表示されないものもあり ますので、必ずコンピュータのマニュアルなども確認してく ださい。

1	割り込み/ボート				
			割り込み		
	ベクターレ^	い関係	を デ	バイス	
	1 0xFFFFFFF ¥Device¥KeyboardPor ● 4 0x00000000 ¥Device¥Serial0 9 0x00000000 Disk ●				
	共有ディスオ	ジション	·	割り込み	タイプー
	未定義 排他的デバイス レベルの区別				
	共有 排他的ドライバ ラッチ済み				
	ボート				
	197理アトレノ	0,30	201 (アハ)	1 X o¥Sorial0	
	(0×41	0x1 ¥Devi	e¥Keyboa	rdPort0
	0x43 0x1 ¥Device¥KeyboardPort0 🖡				

図 6.2.2.3 リソースの表示 (IRQ, I/O Base Address)

(4) Windows NT 診断プログラムを終了します。

6.3 ドライバーの新規インストール

- (1) コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータの PCカードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワークに接続します。
- (3)「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブ ルクリックします。

-		コントロール	レバネル		•
設定(<u>S</u>) へ	レブ(<u>H</u>)				
	AC フォント	シリアル ボート		ご言う あんだ しょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひ	
	各国対応	2 92,74	্র দ্রান্ড দেশ্লা	100 コンワール	1010 - 1010 ポインタ
די גלער	1 サウンド	ドライバ	時 日 ネットワーク	ル ラ サーバー	サービス
	yi Hiftetar)	\smile		
Windows の画面	の色を変更し	ます			

図 6.3.0.1 ネットワーク (コントロールパネル)

(4)「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して、「はい」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.0.2 ネットワークの組み込み開始

(5)「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT のCD-ROMまたはフロッピーディスクをドライブに挿入し、 Windows NT の配布ファイルへのフルパス(AT 互換機では 「1386」、PC-98 では「PC98」となります)を入力します。 (ここでは、ドライブ名を「D:」と仮定します。)



図 6.3.0.3 WindowsNT ファイルの所在の指定



ネットワーク環境が既にインストールされてい る場合はこのダイアログは表示されず、「ネット ワークの設定」が起動します。この場合は手順(12) に進み、本製品のみのインストールを実行してく ださい。

(6) 「検出しない」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.0.4 ネットワークアダプタカードの検出

(7) 「続行」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.0.5 ネットワークカードを組み込みの確認

(8)「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。 「ネットワークアダプタカード(N):」リストボックスで最下 行の「<なし>後でネットワークインターフェイスを選ぶ」 を選択し、「続行」ボタンをクリックします。



(9) 「OK」ボタンをクリックします。

1	Windows NT Workstation ネットワークのセットアップ
•	このオブションは、ほかのネットワーク インターフェイ ス (リモート アクセス サービスなど)を、後で組み込む場 合に使用します。この操作を行う場合は、(OKIボタンをク リックしてください。そうでない場合は、(Hy)セルを選ん でください。

図 6.3.0.7 操作の確認

(10) ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行」ボタンをクリックします。お客様のネットワークで どのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理 者にご相談ください。ここでは TCP/IPのみをチェックする と仮定します。



図 6.3.0.8 プロトコルの選択

(11) 手順(10)で TCP/IPを選択した場合は TCP/IP オプション に関する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて 適宜設定し、「続行」ボタンをクリックしてください。

Windows NT TCP/IP	「組み込みオブショ	シー
コンボーネント:	ファイル サイズ:	
TOP/IP インターネットワーク ブロトコル □ 176族ユニティリティ(交) □ SIMIP サービス(空) □ TOP/IP キットワーク印刷サポート(空) □ FTP サーバーサービス(空) □ 開易 TOP/IP サービス(Q)	526KB 229KB 125KB 61KB 95KB 23KB	続行 キャンセル ヘルフ [*] H)
DHCP 自動構成を有効にする(E)	必要な容量 526KB 空き容量 182,004KB	
TCP/IP 接続ユーティリティには finger、I 。	FTP、r* コマンド、Telne	t などがあります

図 6.3.0.9 TCP/IP オプションの選択

(12)「ネットワークの設定」ダイアログが表示されます。「アダプ
 タカードの追加(P)」ボタンをクリックしてください。

ニ ネットワークの設定				
(計かのコンボーネントを組み込まない場合には、00(ボタンをクリックしてくだ さい、組み込むとぎは、このダイアログでIPアワタかやの追加または(IV)わたの迫 加を違んでネットワークアダイタまたはソフトウェアを追加してください。 遅 択したアイテムをカスタマイズするときは(構成)を通んでください。				
「ネットワーク ソフトウェアとアダプタ カード──── 組み込まれているネットワーク ソフトウェア(\/):				
RPC 構成 TCP/IP プロトコル TCP/IP プロトコル	OK			
サーバー アダッナタ カート のう追加(P)				
[<u>7-727-53)</u> 組み込まれているアダプタ カード(<u>A</u>): 構成(<u>C</u>)	パックト。(B)			
更新(U)	ネットワーク(N)			
肖耶余(<u>R</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)			
説明([): Microsoft NetBEUI 3.0 トランスポート				

図 6.3.0.10 アダプタカードの追加

(13)「ネットワークアダブタの追加」ダイアログが表示されます。 「ネットワークアダブタカード(N)」リストから最下行の「< その他> 各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」 ボタンをクリックします。

ニー ネットワーク アダプタの追加	
ネットワーク アダブタ カード(<u>N</u>):	続行
<ての他>谷メーカーのティスクか必要 ネットロークのセットアップでは、コンピュータに組み込	神ンセル
むネットワーク アダブタ カードの種類を指定する必要が あります。ネットワーク アダブタを組み込まない場合	^JJ∕7°(<u>H</u>)
(は、[キャンセル ボタンをクリックしてください。	

図 6.3.0.11 ネットワークアダプタカードの選択にはディス ク使用

(14) ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、バス「A:¥windows.nt¥351」を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。)

-	フロッピー ディスクの挿入
æ	ソフトウェアまたはハードウェア メーカーが撮 供しているソフトウェア ディスクを挿入してく ださい。このディスクのファイルがほかドラ イプやディレクトリなどにある場合は、そのパ スを以下に入力してください。
	A:¥windows.nt¥351
	OK キャンセル

図 6.3.0.12 ドライバーファイルのパス(所在)の入力

(15)「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」がアクティブになって いることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。

OEM オプションの選択
 ネットワーク アダプタ ドライバを選択してください。
CentreCOM LA-PCM V3 Adapter
OK キャンセル ヘルプ*(<u>H</u>)

図 6.3.0.13 ネットワークアダプタドライバの確認

(16)続いて本製品の設定画面が表示されます。適切な設定値を選 択し、「OK」ボタンをクリックしてください。次の画面は、 AT 互換機 /PC98-NX におけるデフォルトの例です。PC-9800/PC-9821の場合、デフォルトのIRQば5よなります。

CentreCOM LA-PCM V3 LAN Adapter		
IRQ:	A 🛓	
IOBaseAddress :	300 ±	
DIRECT ENABLER PCIC Base Address :	360	
PCMCIA Slot :	Auto 🛓	
O K Canc	el HELP	

义	6.3.0.14	本製品の設定	(AT	互換機	/PC98-	·NΧ	Ø
例)						

-	CentreCOM	LA-PCM V3	3 Adapter
	IRQ :	5	±
	IO Base Address :	300	±
	O K	Cancel	HELP

図 6.3.0.15 本製品の設定(PC-9800/9821の例)

- IRQ、IOBaseAddress
 これら2項目は他のデバイスと重複しない適切な数値を選択してください。
- DIRECT ENABLER (次ページの参考もご覧ください) AT 互換機 /PC98-NX をご使用の場合、「Direct Enabler」に 関する 2 項目について設定します。基本的に、表示されてい るデフォルト値のままで変更は必要ありませんが、本アダプ ターがうまく動作しないとき、下記の手順にしたがって設定 を行ってください。

PC-9800/PC-9821 をご使用の場合、デフォルト値のま まご使用ください。

PCIC Base Address

ホスト PCMCIA コントローラアドレスの値を指定します。 デフォルト値は 3E0hです。一般的に、コンピュータのホス トPCMCIA コントローラアドレスの値は 0x3E(PCMCIA Release2.1 規格による推奨値)に設定されていますが、コ ンピュータの機種によっては異なる値を使用しているもの もありますので、必ずご使用のコンピュータのマニュアルで ご確認ください。

PCMCIA Slot

本製品を挿入している PC カードスロットの番号(1または 2)を指定します。デフォルトは Auto(自動選択)ですが、 できる限り番号で指定してください。スロットの番号は「1」 「2」で指定しますが、ご使用のコンピュータが異なる表記を 用いている場合もあります。一般的には「0」「1」で表記さ れている場合は「0」「1」「1」「2」「上」「下」で表 記されている場合は「上」「2」、「下」「1」と置き換 えればよいようですが、機種によっては逆の場合もあります ので、必ずコンピュータのマニュアルでご確認ください。

(参考) DIRECT ENABLER:本ドライパーには、PCMCIA.SYS を使用せず、直接 PCMCIA コントローラ(PCIC)を制御して本製 品を活性化する機能である Direct Enabler が組み込まれています。 Direct Enablerは 本製品を活性化するためにPCIC Base Address を使用します。ほとんどのコンピュータの PCIC Base Address は、「PCMCIA Release2.1規格」の推奨値である「0x3E0」となって います。しかしながら、推奨値ではないコンピュータも存在しますの で、この場合はDirect Enablerにコンピュータが使用している PCIC Base Address の値を設定する必要があります。

(17)「バインド」ボタンをクリックしてください。

ー ネット	ワークの設定	
ほかのコンボーネントを組み込まないは さい。組み込むとぎは、このダイアロ2 加を遅んでネットワーク アダブタまた 択したアイテムをカスタマイズするとき	易合には、[OK]ボタンをク! グで[アダプタカ-ドの追加まれ :はソフトウェアを追加しう ぎは[構成]を選んでください	Jックしてくだ には ソフトウェアの追 てください。選 ヽ。
「ネットワーク ソフトウェアとアダプタ カード 組み込まれているネットワーク ソフトウェア(\\):		
CentreCOM LA-PCM V3 Adapter))), yjhウェアの追加(S)	OK
NetBEUI 7"DFJJJ NetBIOS 179-7±17	アダプタ カードの追加(Ⴒ)	終了
NetWare 751721+ 9-E"7.	構成(<u>C</u>)	パ"わド"(<u>B</u>)
1) CentreCOM LA=PCM V3 Adapter	更新(U)	₹9F7-7(<u>₩</u>)
	 削除(R)	<u>∧⊮7°(H)</u>
	hapitor	J

図 6.3.0.16 バインドの設定

(18)使用するプロトコルスタックを選択し、「OK」ボタンをク リックしてください。プロトコルスタックが本製品にバイン ドされます。



図 6.3.0.17 プロトコルの選択

(19) 続いてソフトウェアの設定を行います。ここではTCP/IPの 場合について説明します。「TCP/IP プロトコル」を選択し、 「構成(C)…」ボタンをクリックしてください。

スット (ほかのコンボーネントを組み込まない) さい。組み込むときは、このダイアロ: 加を選んでネットワークアダプタまた 択したアイテムをカスタマイズするとき。	ワークの設定 場合には、[OK]ボタンをク! グで[Pダブタカ-ドの追加また (はソフトウェアを追加して きは 構成を遅んでください	リックしてくだ E(d)YJH7z7の追 こください。選 ^。
「おり-7 ソバウ」でとアデクカード 「おり-7 ソバウ」であっい-9 ソバウ」で(y): ContracCOM LA-FCM V3 Adapter NoteEU 「ついうか NetEUS イジランパイ NetWare 37(7) サービス 組み込まれているアデクカード(A): III CentraCOM LA-FCM V3 Adapter IIII CentraCOM LA-FCM V3 Adapter	ソバウホアの追加(5) アグアタカードの追加(5) 構成(2) 更新(1) 消除(5) apher	OK 終了 パックド(E) ネットワーク(N) ヘルブ(H)

図 6.3.0.18 TCP/IP のカスタマイズ

(20) TCP/IPの設定を行います。設定内容についてはネットワーク管理者にご確認ください。以下は起動時の画面です。設定を終えたら「OK」ボタンをクリックしてください。

図 6.3.0.19 TCP/IP の構成(起動時)

- DNS の構成
ホスト名(10): estefan ドメイン名(1): tw.allied-telesis.co.jp
ドメインネームサービス (DNS)の検索捕(年度) 施序 1 10002241 1 10002201 1 10002201 1 10002201
ドメイン サフィックスの修業順序(2) Mailed - telesisco.b 期序 (部行会) -> (部時金) (部時金) (部時金) (< 用時度)
○K キャンセル へルフパ田
このダイアログ ボックスの DNS ネットワークの構成を反映するには、[OK]をクリック します。

図 6.3.0.20 DNS の構成(図 6.3.0.19で「DNS」をク リック)

Microsoft ICP/IP の単級構成
「アダプタ(P) [1] CentreCOM LA-POM V3 Adapter ま
IP 7トレスの:
150.87.28.110 255.255.255.0
サブネット マスタ(S)
<- 前際(2)
デウォルト ケペーウェイ(E) 注意10(点) -> 「150,87,28,32」 「
· · · · (- 前期線(型)
Windows ネットワーク バラメータ IX Windows 名前解決 こ DNS を使用する(8)
I_LMHOSTS の参照を行う(L) LMHOSTS の(小ボート)(M).
x⊒−7° ID(©).
□ WINS 代理エージェルを有効にする(20) □ IP ルーラビクジを有効にする(20)
(0)7 (L) (44:724) (40:724)
このダイアログ ボックスの TOP/IP の詳細構成を反映するには、[OK] をクリックしてください。

図 6.3.0.21 TCP/IPの詳細設定(図 6.3.0.19 で「詳 細」をクリック)

(21) 必要に応じて他のネットワークソフトウェアを追加または カスタマイズし、「終了」ボタンをクリックします。(詳細は ネットワーク管理者にご確認ください。)

キットワークの読定 (かのコンボーネントを組み込まれ、場合には、10Kiボタンをクリックしてくだ さい、弱み込むとされ、このダイアログワアグワトから施加また(は)V1かけのゆう 加を選んでネットワーク アダブタまた(エンフトウェアを追加してください、選 祝しにアイテムをわスタマイズするときは(構成を)選んでください。	
マキリ・フ・リアドレアジアクカ・ドー 協力送去れているオキリ・フ・リアレア(型): ContracyOLL RECM V3 Adaptor ドアド・ワ・パー PT ワ・パー NotEGU TO Diata NetEU TO Diata III Contraction I DA FERM VS Adapter IIII Contraction I DA FERM VS Adapter IIII Contraction LA FERM VS Adapter	

図 6.3.0.22 ネットワークセットアップの終了

(22) ここで、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをク リックしてください。



図 6.3.0.23 「OK」ボタンをクリック

(23)次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.0.24 「いいえ」ボタンをクリック

(24)参加するドメイン / ワークグループを設定し「OK」ボタン をクリックします。詳細はシステム管理者にご相談ください。

- ドメイン/ワークグループの設定	
コンビュータ名: ESTEFAN	(612)
「次のメンバー:	UK
● ワークグループ(₩): WORKGROUP	キャンセル
○ドメイン(D):	∿Jŀプ(<u>H</u>)
_ □ コンビュータ アカウントの作成(<u>C</u>)	
(ドメイン管理者のみ)	
ユーザー名(U):	
バスワード(P):	
ワークグルーブに参加するには、[ワークグループ]に参	幼した
いクルーフ名を入力してION/ホヌフをクリックしてく/ 既にこのコンビュータのアカウントが登録されている	こさい。 ドメイン
に参加するには、その名前を入力し、[OK]ボタンをク てください。	リックし
このコンビュータのコンビュータ アカウントを追加し	なければ
ならない場合は、[ユーザー名]オブションを選択し、ト	・メイン
とバスワードを入力してください。	1 924689



(25)次の画面が表示されたらフロッピーディスクをディスクド ライブから取りだし、「コンピュータの再起動」アイコンを クリックして再起動します。これで設定内容が有効化されま す。

ー Windows NT Workstation ネットワーク セットアップ
Windows NT Workstation ネットワークが組み込まれました。
フロッビー ディスク ドライブからディスクを取り出し、ほ かのアブリケーションを終了し、[コンビュータの再起動)ボタ ンをクリックしてシステムを再起動してください。
コンビュータの再起動(<u>R</u>)



6.4 インストール後

6.4.1 リソースの確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使 用可能な状態となります。Windows NT診断プログラムでデバイス 「lapcmv3*」(*は番号)にインストール時に指定した値(「割り込 み / ポート」の値)が割り当てられていることを確認してください



図 6.4.1.1 割り込み / ポート

6.4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後 一時的に本製品を使用しないとき(= PCカードスロットに本製品が挿入されていない またはネットワーク ケーブルをメディアケーブルから外している場合など)はドライバー をアンロード(バインドしない)してください。ドライバーがロードさ れたまま前述のことを行った場合、Windows NT はこれらの現象を ネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表 示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードするこ とによって回避できます。

- (1)「コントロールパネル」「ネットワーク」「ネットワークの設定」「パインド (B)..」と進みます(図 6.3.0.16 ~ 図 6.3.0.17 参照)。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをク リックして電球が消えている状態にしてください。

6.5 ドライバーの削除と再インストー ル

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にパインドして いたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値(例えば TCP/IPにおける IP アドレスなどは削除されます)。したがって、本 製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスな どを使用できます。

6.5.1 ドライバーの削除

(1)「プログラムマネージャ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストから「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

- ネット	ワークの設定
コンピュータ名: ESTEFAN	変更 (<u>G</u>)
7-99")u-7": WORKGROUP	変更(E)
┌ネットワーク ソフトウェアとアダ"プタ カート"	
組み込まれているネャトワーク ソフトウェア(\):	
CentreCOM LA-PCM V3 Adapter	yフトウェアの追加(S) OK
NetBEUI 7 ¹ 0F3/k NetBIOS 179-7x172	アダツアタカードの追加(P) キャンセル
Netwate ソフリアフト リービス ・	構成(C) パックド(B)
[1] CentreCOM LA-PCM V3 Adapter	更新(U) ネットワーク(N)
	削除(R) へルプ(H)
説明(I): CentreCOM LA-PCM V3 A	dapter

図 6.5.1.1 アダプタカードを削除

(2) 「はい」ボタンをクリックします。

	ネットワークの設定
•	この操作はコンボーネントをシステムから削除します。再度 組み込むときは、その前にシステムを再起動してください。 統行してもよろしいですか?
	[[JU いいえ(<u>N</u>)



(3)「組み込まれているアダブタカード」から「CentreCOM LA-PCM-T V3 Adapter」が消えていることを確認して「OK」 ボタンをクリックします。

- ネットワークの設定					
コンピュータ名:	ESTEFAN	<u>変更(G)</u>			
7-99°16-7°:	WORKGROUP	変更(E)			
「ネットワーク ソフトウェアを 組み込まれてい	とアダプタ カード				
FTP U-N"- NetBEUI 7"DF3/	(04917) 7 771717(<u>1</u> 17) 		OK D		
NetBIOS ()9-7: NetWare 75(7) NWLiek IPV/SPV	11ス トサービス 石塘トランフポート	アダプタカ-ドの追加(P)	終了		
組み込まれてい	るアグプクカ上"(A):	構成(_)	パッイント。(<u>B</u>)		
		更新(U)	[≵] 917-7(<u>N</u>)		
		削除(<u>R</u>)	<u> </u>		
説明(I): FTP サ	-// -				

図 6.5.1.3 削除後のネットワーク設定の確認

(4)「再起動する」ボタンをクリックして、(フロッピーディスク がドライブに入っている場合は取り出して)コンピュータを 再起動します。



図 6.5.1.4 再起動を実行

6.5.2 再インストール

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合はネットワーク(コ ントロールバネル)を起動し、「アダプタカードの追加..」をクリック してください。(「6.3 ドライバーの新規インストール」の手順(12) から再開することになります。)

6.6 ドライバーのトラブル

本製品が正しく動作しない場合は、インストール中に設定した「IRQ (インタラブト)」、「IO Base Address (I/O ペースアドレス)」の設 定が、別のデバイスと競合していることが考えられます。

「6.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法」(p.35)を参 照し、デパイス「lapcmv3*」(*は番号)に正しくリソースが割り当 てられていることを確認してください。正しくリソースが割り当てら れていない場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」と進 み、アダプタタプで「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択 し、「構成」ボタンをクリックして、「IRQ(インタラプト)」、「IO Base Address (I/O ベースアドレス)」の設定を変更してみてくだ さい。

7 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のこと を確認してください。

7.1 LNK LED は点灯しています か?

LNK(LINK)LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されて いる場合に点灯するランプです。LNKLEDは、本製品とハブの両 方に存在します。本製品とハブの両方のLNKLEDが点灯している ことを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または 両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ・ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- ・UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・正しい UTP ケーブルを使用しているか確認してください。
 本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」
 を使用しなければなりません。
- ハブのボートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種 によっては、ハブ同士を接続するためのボート(カスケード ポート)を持つものがあり、通常カスケードボートには設定 スイッチが存在します。カスケードボートに本製品を接続す るときは、カスケードボートの設定スイッチで同ポートを 「MDI-X」や「topc」に設定しなければなりません(通常 のハブのボートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- ・ UTP ケーブルに問題はありませんか? ケーブルの不良は外 観からは判断しにくいため(結線は良いが特性が悪い場合な ど)、他のケーブルに交換して試験してみてください。
- ・ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。

7.2 LNK LED は点灯しているが ...

LNK LED は点灯しているが、通信が運いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- ・ UTP ケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 100mと規定されています。
- ・正しいUTP ケーブルを使用していますか?10BASE-T では「カテゴリー3」以上のUTP ケーブルを使用しなければなりません。
- ・UTP ケーブルに問題はありませんか? ケーブルの不良は外 観からは判断しにくいため(結線は良いが特性が悪い場合な ど)、他のケーブルに交換して試験してみてください。

A 付録

A.1 製品仕様

- 1. ハードウェア仕様
 - ・カード規格:PC Card Standard (PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2)
 - ・信号:IEEE802.3 10BASE-T

2.機械的仕様

- ・外形: カード:54.0 x 85.6 x 5.0 (mm) (Type II PC Card) メディアケーブル:300 (mm) (モジュラージャック部を含 む)
- ・ 重量 : カード :約 30g メディアケーブル :約 10g

3. 電気的仕様

- •動作電圧:DC+5V ± 0.5%
- ・ 消費電流 :最大 70 mA

4.環境条件

- 動作保証温度:0~55 (PCカードの周囲温度)
 (注:PCカードの周囲温度であって、コンピュータの周囲温度ではありません)
- ・保存温度:-20~+65
- ・ 動作・保存湿度:95%以下(ただし結露なきこと)
- 5.電気雑音の発生防止
 - ・ 雑音端子電圧 :VCCI クラス B
 - ・ 雑音電界強度 :VCCI クラス B
- 6. ネットワーク機能
 - ・ 転送速度:10Mbps
 - ・RAMバッファ :32K bytes SRAM
 - ・ I/Oペースアドレス :0x200, 0x220, 0x240, 0x260, 0x280, 0x2A0, 0x2C0, 0x2E0, 0x300, 0x320, 0x340, 0x360, 0x380, 0x3A0, 0x3C0, 0x3E0
 - ・インタラプト: 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10(A), 11(B), 12(C), 15(F)

A.2 ネットワークインターフェース

10BASE-T インターフェース(MDI)は RJ-45型と呼ばれるモ ジュラージャックが使用されています。



図 A.2.0.1 RJ-45 モジュラージャック、プラグ

ピン番号	信号 (MDIポート)
1	送信データ(+)
2	送信データ(-)
3	受信データ(+)
4	未使用
5	未使用
6	受信データ(-)
7	未使用
8	未使用

図 A.2.0.2 信号線名



図 A.2.0.3 UTP ケーブル (ストレートタイプ)

A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレス を使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター)のひ とつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)ア ドレスです。

MAC アドレスは 下記の 6 バイト(48ビット)によって構成されて おり、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更する ことはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されてい る MAC アドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

00	00	F4	XX	xx	XX
ベンダーID				通し番号	

・ベンダー ID LAN ベンダー(LAN 用機器を製造しているメーカー)が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。

通し番号
 この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は、「45~49」で始まる6桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。



MAC アドレス (マッグアドレスと読みます)は、物理アドレス ネットワークアドレス、イーサ ネットアドレスなどと呼ばれることも あます。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用さ れるIPアドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。



本製品に添付されている「保証書(永久保証)」の「製品保証規 定」をお読みになり、「お客さまインフォメーション登録カード」に 必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録(よ)ま でご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返 送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを 受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生 命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他 の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、当 社は、その責を一切負わないこととします。

C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依 頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファッ クスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避け てください。ファックスによって詳細な情報を送付していただく方が、 電話による問い合わせよりもより早く問題を解決することができま す。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあ たって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもご ざいますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Fax: 0120-860-662 年中無休 24 時間受付

Tel: 0120-860-772 月~金(祝・祭日を除く)10:00-19:00 土(祝・祭日を除く)10:00-17:00

C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を 突き止めるためにご記入いだだくものです。障害を解決するために も以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で 書き切れ ない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウェアとソフトウェア

 ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン 本製品に貼られたシリアル番号シールのシリアル番号 (S/ N)、製品リビジョンコード (Rev.)を調査依頼書に記入して ください。

(例)	S/N 00077000002346 Rev 1A

- ご使用の当社のソフトウェア
 当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、パージョン(Ver.)、シリアル番号 (S/N) を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラペル上に記入されています。
- ご使用のコンピュータの機種
 ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご 記入ください。
- ご使用の周辺機器
 CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなどの他 社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリ ティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
- ご使用のサーバー、UNIXシステムの機種、OS など 接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記 入ください。(例えば、NetWare 5、Windows NT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.8 など)

お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発 生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入 してください。
- 本カードと併用されているユーティリティや、アプリケー ションの処理内容もご記入ください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- ご使用のOSがWindows98/95、Windows NTの場合、お 手数ですが可能な限りシステムレポートを出力し、添付して くださるようお願いいたします。レポートの出力方法は、 「C.2 システムレポート添付のお願い」をご覧ください。

接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク
 機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

C.2 システムレポート添付のお願い

お問い合わせの際には可能な限り、システムレポート(お使いのコン ビュータの詳細情報を OS が自動作成するレポート)を出力の上、 「調査依頼書」に添付いただきますようお願いいたします。システム レポートを出力する手順は以下の通りです。

1. Windows98/95

- コントロールパネルから「システム」を起動し「デパイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷 (N)…」ボタンをクリックします。

(3)「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

2. Windows NT Ver.4.0

- (1)「スタート」 「プログラム」 「管理ツール(共通)」
 「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診 断プログラム」を起動します。
- (2) 「印刷 (N)…」ボタンをクリックします。
- (3)「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

3. Windows NT Ver.3.51

- (1)「プログラムマネージャ」「管理ツール」と進み、「Windows NT診断プログラム」アイコンをダブルクリックして起動し ます。
- (2)「ファイル (F)」メニューの「レポートの印刷 (P)…」コマンドを選択します。
- (3)「レポートオプションの印刷」オプションでばすベてレポートする(R)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

システム リソース レポート - ページ: 1 Windows パージョン: 4.00.950 コンピュータ名: 不明 CPU の種類: Pentium システム パスの種類: ISA BIOS 名: Phoenix BIOSの日付: 01/08/97 BIOS のパージョン: Phoenix NoteBIOS Version 4.05 コンピュータの種類: IBM PC/AT 数值コプロセッサ: Not Present 登録オーナー:XXXXXX 登録会社: X X X X X X ******************* IRQの概要 ********************** IRQ の使用: 00 - システムタイマー 01 - 106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数) 02-プログラミング可能な割り込みコントローラ 03 - 通信ポート(COM2) 04 - 通信ポート(COM1) 05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive 06 - スタンダ -ト フロッピ - デ イスク コントローラ 07 - 7° リンタボ -ト (LPT1) 08 - システム CMOS/リアル タイム クロック 10 - Texas Instruments PCI-1130 CardBus Controller 10 - PCI ステアリング用 IRQ ホルダ 电IRQ 制炉 -Q.CardB

図 C.2.0.1 システムレポートの例

C.3 最新ドライパーソフトウェアの入 手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョ ンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライ パーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

ホームページからの入手

- Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web プラウザを使用して、アライドテレシスのホームペー ジ「http://www.allied-telesis.co.jp」にアクセスします。
- (2) 「サポート」の「ダウンロード」をクリックしてください。
- (3) 「LAN アダプター」の項目を選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング(TEL:0120-860-442,9:00 ~ 17:30 / 月~金)までお問い合わせください。実費にて最新デラ イバーのフロッビーディスクをご提供いたします。

調査依頼書(LA-PCM-T V3 1/2)				年	月	日	
_	般事項						
1.	御社名: 部署名: ご連絡先住所:〒			ご担当者:			
	TEL:	()		FAX: ()			
2.	購入先: 購入先担当者:			購入年月日: 連絡先(TEL): ()		
Л	ードウェアとソフト	ウェア					
1.	ご使用のカードのシリア	ル番号、製品	品リビジョ	ョン			
	LA-PCM-T V3						
2.	ご使用の当社のソフトウ 本製品のドライバーデ CentreNET AT-TCP/ その他(その他(エア イスク Ver. 32 Ver.) Ver.) Ver.	рІ. рІ. рІ. рІ.	(AT 互換機 /PC98-NX S/N S/N S/N	PC982	21)	
3.	ご使用のコンピュータに [、] メーカ名 : OS :	ついて	機和 バー サー	重名: −ジョン: −ビスパック:			
4.	ご使用の周辺機器につい CD-ROM ドライブ:_ サウンドボード: SCSI ボード: その他:	τ					
5.	5. ご使用のサーバー、UI	NIX システム	の機種、	OSなど			

トラブルの発生時期
 セットアップ中に起こっている障害
 セットアップ後、運用中に起こっている障害

7. システムレポート

- 添付あり
- 添付なし

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

D ご注意

- 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、 全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。ア ライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製 することを禁じます。
- アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告な く変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999 アライドテレシス株式会社

E 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登 録商標です。 Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機 器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

F マニュアルバージョン

1999年4月26日 Rev.A 初版 1999年8月6日 Rev.B 改版、誤記修正。